

2020年11月12日

2021年3月期 第2四半期 決算説明会（電話会議）

説明者 取締役副社長CFO 宮崎純一

ディスクロージャー
2020年度 優良企業



公益社団法人
SAAJ 日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan



Nissan Chemical
CORPORATION

**Institutional
Investor**

2020 ALL-JAPAN EXECUTIVE TEAM
MOST HONORED COMPANY

NISSAN CHEMICAL CORPORATION

2020上実績ハイライト

1. 前年同期比

- ◆ 営業利益は、前年同期180億円に対し、180億円と横ばい
 - － 化学品は、メラミン・テピック・環境化学品の減収が大きく、減益
 - － 機能性材料は、ディスプレイ・半導体の好調と、固定費の減少を主因に増益
 - － 農業化学品は、アルテア増収も、フルララネルの出荷減(業績予想比は上ぶれ)、固定費の増加により減益
 - － 医薬品は、ファインテック増収も、リバロの減収により減益
- ◆ 純利益は、前年同期145億円に対し、139億円と6億円の減益

2. 業績予想(2020年5月発表)比

- ◆ 営業利益は、業績予想161億円に対し、180億円と19億円の**上ぶれ**
 - － 化学品は、メラミン・テピック・環境化学品などが全般的に**下ぶれ**し、利益**下ぶれ**
 - － 機能性材料は、半導体の好調と固定費の**下ぶれ**により、利益**上ぶれ**
 - － 農業化学品は、売上高**下ぶれ**(フルララネルは**上ぶれ**、その他農薬は全般的に**下ぶれ**)も、固定費**下ぶれ**のため、利益**上ぶれ**
 - － 医薬品は若干の利益**下ぶれ**
- ◆ 純利益は、5月予想125億円に対し、139億円と14億円の**上ぶれ**

2020下予想ハイライト

1. 前年同期比

- ◆ 営業利益は、前年同期206億円に対し、223億円と17億円の増益
 - － 化学品は、高純度硫酸・硝酸製品・テピック(一般)・環境化学品の増収により増益
 - － 機能性材料は、半導体の好調により増益
 - － 農業化学品は、アルテア・グレーシア・フルララネルの出荷増により増益
 - － 医薬品は、ファインテック増収により増益
- ◆ 純利益は、前年同期163億円に対し、175億円と12億円の増益

2. 前回業績予想(2020年5月発表)比

- ◆ 営業利益は、前回予想232億円に対し、223億円と9億円の**下ぶれ**
 - － 化学品は、メラミン・硝酸製品などが**下ぶれ**し、利益**下ぶれ**
 - － 機能性材料は、半導体の好調により、利益**上ぶれ**
 - － 農業化学品は、グレーシア・フルララネルの**下ぶれ**により、利益**下ぶれ**
 - － 医薬品は、リバロの**上ぶれ**により、利益**上ぶれ**
- ◆ 純利益は、5月予想183億円に対し、175億円と8億円の**下ぶれ**

2020年間予想ハイライト

1. 前年同期比

- ◆営業利益は、前年同期386億円に対し、403億円と17億円の増益
 - －化学品は、メラミン・テピックの減収が大きく、減益
 - －機能性材料は、ディスプレイ・半導体の好調と、固定費の減少を主因に増益
 - －農業化学品は、アルテア・グレーシアなど増収だが、固定費の増加により減益
 - －医薬品は、ファインテック増収も、リバロの減収により減益
- ◆純利益は、前年同期308億円に対し、314億円と6億円の増益

2. 前回業績予想(2020年5月発表)比

- ◆営業利益は、前回予想393億円に対し、403億円と10億円の増え
 - －化学品は、メラミン・硝酸製品・テピックなどが下ぶれし、利益下ぶれ
 - －機能性材料は、半導体の好調と固定費の下ぶれにより、利益上ぶれ
 - －農業化学品は、売上高下ぶれも、固定費の下ぶれにより、利益上ぶれ
 - －医薬品は、リバロの上ぶれにより、利益上ぶれ
- ◆純利益は、5月予想308億円に対し、314億円と6億円の増え

3. 株主還元

- ◆配当は年間98円(中間46円、期末52円)とし、前年90円(中間42円、期末48円)に対し、8円増配、前回予想96円(中間46円、期末50円)に対し、2円増配
- ◆配当性向は45.1%(前年実績は42.8%)
- ◆自己株式取得は、2020年7月に70億円完了
- ◆総還元性向(配当＋自己株式取得)の目標は75%(配当98円と自己株式取得70億円に基づけば67.2%)

2020上実績

(億円)

	2019上			2020上			増減			増減率	2020上予想 (2020/5発表)		
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	計	1Q	2Q	計
売上高	487	478	965	493	452	945	+6	-26	-20	-2%	498	468	966
営業利益	93	87	180	98	82	180	+5	-5	0	0%	85	76	161
営業外損益	7	-1	6	6	-4	2	-1	-3	-4	-	6	0	6
経常利益	100	86	186	104	78	182	+4	-8	-4	-3%	91	76	167
特別損益	9	0	9	0	11	11	-9	+11	+2	-	0	0	0
純利益 (1)	78	67	145	76	63	139	-2	-4	-6	-4%	68	57	125
EBITDA (2)	116	111	227	121	107	228	+5	-4	+1	0%	-	-	205
EPS (円/株)	53.13	45.62	98.75	52.38	43.58	95.96	-0.75	-2.04	-2.79	-3%	-	-	86.64
配当 (円/株)	-	-	42	-	-	46	-	-	+4		-	-	46
配当総額	-	-	62	-	-	66	-	-	+4		-	-	66
売上高営業利益率	19.2%	18.2%	18.7%	19.9%	18.1%	19.0%	+0.7%	-0.1%	+0.3%		17.1%	16.2%	16.7%
ROE	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-
為替レート (円/ドル)	110	107	109	108	106	107					-	-	108
原油(JCC)(ドル/bbl) (3)	72	66	69	31	41	36					65	65	65

(1) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(3) 実績は財務省貿易統計ベース

2020上実績

<前年比>

(売上高)	◆減収	- 20 億円	(-2%)	(増収) 機能性材料、卸売 (減収) 化学、農業化学、医薬
(営業利益)	◆横ばい	0 億円	(0%)	(増益) 機能性材料、卸売 (減益) 化学、農業化学、医薬

(経常利益) ◆減益 - 4 億円 (-3%)

(特別損益) ◆増益 + 2 億円

2020上 (特別損益) +11億円 (有価証券売却益11億円・売却額16億円、11銘柄(うち7銘柄保有全株数売却))

2019上 (特別損益) +9億円

(純利益) ◆減益 - 6 億円 (-4%)

(EPS) ◆減少 - 2.79円 (-3%)

<株主還元>

(配当) ◆中間46円(前年比:4円増配、2020/5業績予想比:変更なし)

(自己株式取得) ◆70億円、1,334千株取得(2020年5月~7月)

(自己株式消却) ◆1百万株消却(2020年8月)

<2020/5業績予想比>

(売上高) ◆下ぶれ - 21 億円 (上ぶれ) 機能性材料、医薬、卸売

(下ぶれ) 化学、農業化学

(営業利益) ◆上ぶれ + 19 億円

(上ぶれ) 機能性材料、農業化学、卸売

(下ぶれ) 化学、医薬

(経常利益) ◆上ぶれ + 15 億円

(特別損益) ◆上ぶれ + 11 億円

2020上 (特別損益) +11億円 (有価証券売却益11億円・売却額16億円、11銘柄(うち7銘柄保有全株数売却))

(純利益) ◆上ぶれ + 14 億円

(EPS) ◆上ぶれ + 9.32円

2020予想(3Q、4Q業績予想開示)

(億円)

	2019実績							2020予想 (2020/11発表)							2020予想 (2020/5発表)					
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	
売上高	487	478	965	415	688	1,103	2,068	493	452	945	447	703	1,150	過去最高	2,095	498	468	966	1,179	2,145
営業利益	93	87	180	34	172	206	386	98	82	180	42	181	223	過去最高	403	85	76	161	232	393
営業外損益	7	-1	6	5	3	8	14	6	-4	2	5	1	6		8	6	0	6	5	11
経常利益	100	86	186	39	175	214	400	104	78	182	47	182	229	過去最高	411	91	76	167	237	404
特別損益(1)	9	0	9	0	1	1	10	0	11	11	0	5	5		16	0	0	0	5	5
純利益(2)	78	67	145	30	133	163	308	76	63	139	37	138	175	過去最高	314	68	57	125	183	308
EBITDA(3)	116	111	227	63	202	265	492	121	107	228	-	-	279		507	-	-	205	285	490
EPS(円/株)	53.13	45.62	98.75	20.76	90.58	111.34	210.09	52.38	43.58	95.96	-	-	121.60		217.56	-	-	86.64	127.59	214.23
配当(円/株)	-	-	42	-	-	48	90	-	-	46	-	-	52		98	-	-	46	50	96
配当性向(%)	-	-	-	-	-	-	42.8	-	-	-	-	-	-		45.1	-	-	-	-	44.8
配当総額	-	-	62	-	-	69	131	-	-	66	-	-	75		141	-	-	66	72	138
売上高営業利益率	19.2%	18.2%	18.7%	8.2%	25.0%	18.7%	18.7%	19.9%	18.1%	19.0%	9.4%	25.7%	19.4%		19.2%	17.1%	16.2%	16.7%	19.7%	18.3%
ROE	-	-	-	-	-	-	16.9%	-	-	-	-	-	-		16.6%	-	-	-	-	16.4%
為替レート(円/ドル)	110	107	109	109	109	109	109	108	106	107	105	105	105			-	-	108	108	108
原油(JCC)(ドル/bbl)(4)	72	66	69	66	68	67	68	31	41	36	-	-	44			65	65	65	65	65

(1) 2020予想(2020/11発表): 投資有価証券売却益計16億円

(2) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(4) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(4) 実績は財務省貿易統計ベース

2020下予想

<前年比>

(売上高)	◆増収	+ 47 億円	(+4%)	(増収) 機能性材料、農業化学、医薬、卸売 (減収) 化学
(営業利益)	◆増益	+ 17 億円	(+8%)	(増益) 化学、機能性材料、農業化学、医薬 (減益) 卸売
(経常利益)	◆増益	+ 15 億円	(+7%)	
(純利益)	◆増益	+ 12 億円	(+8%)	
(EPS)	◆増加	+ 10.26円	(+9%)	
3Q (営業利益)	◆増益	+ 8 億円	(+23%)	
4Q (営業利益)	◆増益	+ 9 億円	(+5%)	

<2020/5業績予想比>

(売上高)	◆下ぶれ	- 29 億円	(上ぶれ) 医薬、卸売 (下ぶれ) 化学、機能性材料、農業化学
(営業利益)	◆下ぶれ	- 9 億円	(上ぶれ) 機能性材料、医薬 (下ぶれ) 化学、農業化学、卸売
(経常利益)	◆下ぶれ	- 8 億円	
(純利益)	◆下ぶれ	- 8 億円	
(EPS)	◆下ぶれ	- 5.99円	

2020年間予想

<前年比>

(売上高) ◆増収	+ 27 億円	(+1%)	(増収) 機能性材料、農業化学、卸売 (減収) 化学、医薬
(営業利益) ◆増益	+ 17 億円	(+4%)	(増益) 機能性材料 (横ばい) 卸売 (減益) 化学、農業化学、医薬
(経常利益) ◆増益	+ 11 億円	(+3%)	
(純利益) ◆増益	+ 6 億円	(+2%)	
(EPS) ◆増加	+ 7.47円	(+4%)	

営業利益・経常利益は7年連続、純利益は8年連続 過去最高益を更新

<2020/5業績予想比>

(売上高) ◆下ぶれ	- 50 億円	(上ぶれ) 医薬、卸売 (下ぶれ) 化学、機能性材料、農業化学
(営業利益) ◆上ぶれ	+ 10 億円	(上ぶれ) 機能性材料、農業化学、医薬、卸売 (下ぶれ) 化学
(経常利益) ◆上ぶれ	+ 7 億円	
(特別損益) ◆上ぶれ	+ 11 億円	2020上 (特別損益) +11億円 (有価証券売却益11億円・売却額16億円、 11銘柄(うち7銘柄保有全株数売却))
(純利益) ◆上ぶれ	+ 6 億円	
(EPS) ◆上ぶれ	+ 3.33円	

<株主還元>

- (配当) ◆中間46円、期末52円 (配当性向45.1%、前年比: 中間4円増配、期末4円増配 2020/5業績予想比: 期末2円増配)
- (自己株式取得) ◆70億円、1,334千株取得 (2020年5月~7月)
- (自己株式消却) ◆1百万株消却 (2020年8月)
- (総還元性向目標) ◆75% (配当98円と自己株式取得70億円に基づけば67.2%)

2020上実績、2020予想 営業外損益・特別損益

(億円)

	2019実績			2020予想 (2020/11発表)			増減			2020予想 (2020/5発表)		
	上	下	計	上実	下	計	上実	下	計	上	下	計
営業外収益	13.6	12.5	26.1	9.5	14.7	24.2	-4.1	+2.2	-1.9	10.5	14.7	25.2
受取利息・配当金	3.7	4.5	8.2	3.5	4.2	7.7	-0.2	-0.3	-0.5	3.5	4.5	8.0
持分法投資損益	4.0	5.5	9.5	2.6	8.0	10.6	-1.4	+2.5	+1.1	4.3	6.8	11.1
為替差益	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.9	2.5	8.4	3.4	2.5	5.9	-2.5	0.0	-2.5	2.7	3.4	6.1
営業外費用	7.4	5.2	12.6	7.6	8.5	16.1	+0.2	+3.3	+3.5	4.8	9.0	13.8
支払利息	0.7	0.5	1.2	0.5	0.4	0.9	-0.2	-0.1	-0.3	0.7	0.5	1.2
固定資産処分損	2.0	2.4	4.4	2.9	6.4	9.3	+0.9	+4.0	+4.9	3.2	6.7	9.9
為替差損	2.2	0.2	2.4	2.6	0.0	2.6	+0.4	-0.2	+0.2	0.0	0.0	0.0
その他	2.5	2.1	4.6	1.6	1.7	3.3	-0.9	-0.4	-1.3	0.9	1.8	2.7
特別利益 (投資有価証券売却益)	16.9	1.4	18.3	10.9	5.1	16.0	-6.0	+3.7	-2.3	0.0	5.0	5.0
特別損失	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	-8.3	0.0	-8.3	0.0	0.0	0.0

2020上実績、2020予想 キャッシュフロー

(億円)

	2019上 実績	2020上 実績	2019年間 実績	2020年間予 (2020/11発表)	2020年間予 (2020/5発表)
営業キャッシュ・フロー	319	336	355	350	391
税金等調整前純利益	195	193	410	427	409
投資有価証券売却損益(－は益)	-17	-11	-18	-16	-5
減価償却費(1)	47	48	105	104	109
法人税等の支払	-43	-66	-84	-114	-112
運転資金増減他	137	172	-58	-51	-10
投資キャッシュ・フロー	-24	-25	-156	-94	-119
設備投資	-42	-40	-89	-99	-111
投資有価証券購入・売却	29	15	25	21	6
その他(2)	-11	0	-92	-16	-14
財務キャッシュ・フロー	-334	-328	-252	-251	-251
株主還元(配当)	-62	-70	-124	-231	-231
株主還元(自己株取得)	-60	-70	-100		
借入金増減額	-203	-188	-19	-20	-20
その他(3)	-9	0	-9	0	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	-4	0	-3	0	0
現金及び現金同等物の増減額	-43	-17	-56	5	21
現金及び現金同等物の残高	319	289	306	311	327

(1) のれん償却費を含む

(2) 2019年間実績: 殺菌剤クインテック事業買収-63、他-29

(3) 2019年間実績: 業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得-8(19年8月)、他-1

貸借対照表

(億円)

	2019/9	2020/3 (A)	2020/9 (B)	増減 (B) - (A)
流動資産	1,336	1,542	1,321	-221
現金預金	319	306	289	-17
売上債権	518	725	491	-234
たな卸資産	445	439	492	+53
その他	54	72	49	-23
固定資産	899	953	971	+18
有形固定資産	522	516	512	-4
無形固定資産	14	74	72	-2
投資有価証券*	304	309	339	+30
その他	59	54	48	-6
資産合計	2,235	2,495	2,292	-203

*投資有価証券内訳

上場株式	208	207	237	+30
非上場株式	24	26	26	0
関係会社株式	72	76	76	0
合計	304	309	339	+30

	2019/9	2020/3 (A)	2020/9 (B)	増減 (B) - (A)
負債	435	640	412	-228
買入債務	158	169	140	-29
借入金	62	246	58	-188
その他	215	225	214	-11
純資産	1,800	1,855	1,880	+25
株主資本	1,710	1,771	1,770	-1
その他有価証券 評価差額金	81	78	102	+24
為替換算 調整勘定	-9	-9	-8	+1
非支配株主持分	16	16	16	0
退職給付に係る 調整累計額	2	-1	0	+1
負債・純資産 合計	2,235	2,495	2,292	-203

- ・自己資本比率 79.8% 73.7% 81.3%
 - ・D/Eレシオ(1) -15.0% -3.4% -13.1%
 - ・株主資本増減-1 = 純利益139 - 配当その他140
- (1) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

2020予想 セグメント別売上高(1)(2)(3)

(億円)

	2019実績							2020予想 (2020/11発表)							増減			2020予想 (2020/5発表)				
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計	1Q	2Q	上	下	計
化学	84	84	168	87	88	175	343	74	73	147	81	89	170	317	-21	-5	-26	85	85	170	186	356
ファイン	26	26	52	26	27	53	105	27	27	54	29	35	64	118	+2	+11	+13	32	32	64	67	131
基礎	58	58	116	61	61	122	238	47	46	93	52	54	106	199	-23	-16	-39	53	53	106	119	225
機能性	151	163	314	170	171	341	655	171	175	346	175	177	352	698	+32	+11	+43	169	172	341	360	701
農業化学	147	132	279	55	306	361	640	146	111	257	82	307	389	646	-22	+28	+6	152	108	260	395	655
医薬	19	15	34	16	20	36	70	15	15	30	16	22	38	68	-4	+2	-2	12	16	28	36	64
創薬	14	7	21	9	10	19	41	7	8	15	6	9	15	30	-6	-4	-11	7	8	15	13	28
FT	5	8	13	6	10	16	29	8	7	15	10	13	23	38	+2	+7	+9	5	8	13	22	36
卸売	175	158	333	175	171	346	679	182	155	337	179	175	354	691	+4	+8	+12	171	159	330	352	682
その他	49	49	98	51	75	126	224	48	46	94	64	76	140	234	-4	+14	+10	55	51	106	144	250
調整額	-138	-123	-261	-139	-143	-282	-543	-143	-123	-266	-150	-143	-293	-559	-5	-11	-16	-146	-123	-269	-294	-563
合計	487	478	965	415	688	1,103	2,068	493	452	945	447	703	1,150	2,095	-20	+47	+27	498	468	966	1,179	2,145

- (1) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む
- (2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある
- (3) 2020年度より、ファインオキシコール(FO、化粧品原料)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

2020予想 セグメント別営業利益⁽¹⁾⁽²⁾

(億円)

	2019実績							2020予想 (2020/11発表)							増減			2020予想 (2020/5発表)				
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計	1Q	2Q	上	下	計
化学	9	-6	3	5	5	10	13	7	-8	-1	7	6	13	12	-4	+3	-1	12	0	12	15	27
機能性	40	44	84	47	39	86	170	53	54	107	49	50	99	206	+23	+13	+36	42	45	87	94	181
農業化学	45	49	94	-18	117	99	193	40	38	78	-7	116	109	187	-16	+10	-6	36	31	67	117	184
医薬	4	1	5	1	3	4	9	-1	1	0	1	5	6	6	-5	+2	-3	-1	2	1	3	4
創薬	2	-2	0	-2	0	-2	-1	-2	-1	-4	-4	-1	-5	-9	-4	-3	-7	-3	-1	-3	-6	-10
FT	2	3	5	2	4	6	11	2	2	4	4	6	10	14	-1	+5	+4	1	3	4	10	14
卸売	5	5	10	6	5	11	21	7	5	12	5	4	9	21	+2	-2	0	5	5	10	10	20
その他	1	0	1	1	5	6	7	0	0	0	1	5	6	6	-1	0	-1	0	1	1	6	7
調整額	-11	-6	-17	-8	-2	-10	-27	-8	-8	-16	-14	-5	-19	-35	+1	-9	-8	-9	-8	-17	-13	-30
合計	93	87	180	34	172	206	386	98	82	180	42	181	223	403	0	+17	+17	85	76	161	232	393

(1) 2019-20 : 新方式セグメント別営業利益

1. 2020年度より変更(売上高は変更なし)

2. 2019年度は遡及して再計算

3. 連結調整(固定資産未実現利益、棚卸資産未実現利益など)は、旧方式では各セグメントに配賦していたが、新方式では各セグメントに配賦せず調整額で一括処理

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

将来の成長エンジン – 2020年度売上高予想(2020/5発表)

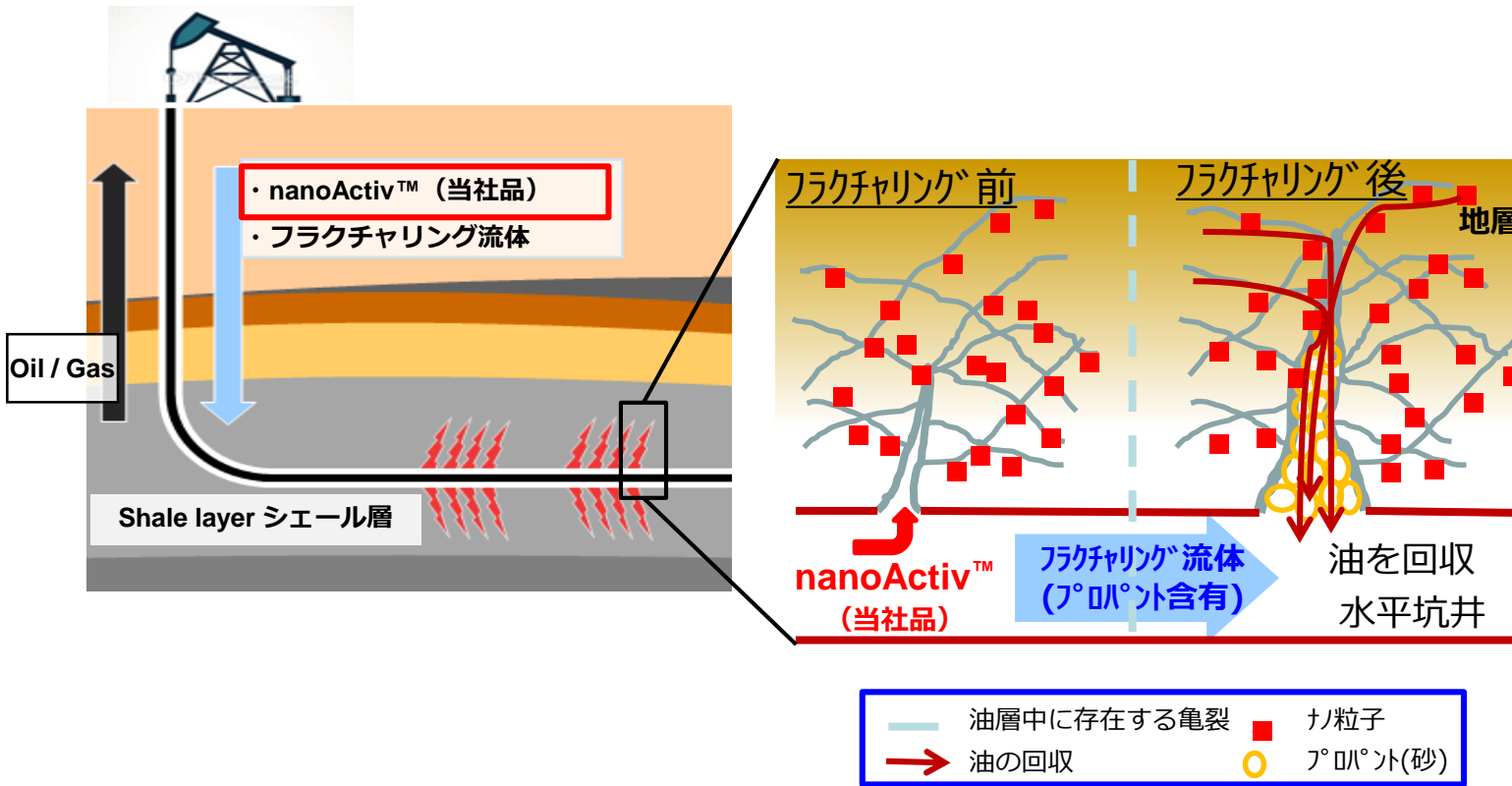
2020年度予想
売上高規模(1)

(1)サンプル出荷に伴う試験費控除も含む

	3億円未満	3億円以上6億円未満	6億円以上	合計	
化学品	<ul style="list-style-type: none"> テピック新製品(液状) (ファインケミカル) ビーナス®オイルクリーン (ファインケミカル) 			0億円	
機能性材料	<ul style="list-style-type: none"> フレキシブルHC材料 (ディスプレイ) ホール注入材 (ディスプレイ) 位相差フィルム用配向材 (ディスプレイ) 三次元実装材料 (半導体) 新規高屈(IM用フィルム) (無機) 	<ul style="list-style-type: none"> 調光フィルム材料 (ディスプレイ) 撥液バンク材料 (ディスプレイ) TV向け配向材 (ディスプレイ) オルガノゾル(絶縁CTE) (無機) モノマーゾル (3Dプリンティング) (無機) 	<ul style="list-style-type: none"> CMOSイメージセンサー材料 (半導体) オイル&ガス材料 (無機) 	<ul style="list-style-type: none"> EUV材料 (半導体) 	31億円
農業化学品	<ul style="list-style-type: none"> ネクスター (導入剤) クラール (自社開発) アレイル (自社開発) 	<ul style="list-style-type: none"> トランスフォーム™/エクシード™ /ピレスコ™ (導入剤) 	<ul style="list-style-type: none"> グレーシア (自社開発) ラウンドアップAL II/III (自社開発) クインテック (買収剤) 	91億円	
医薬品 ・その他	<ul style="list-style-type: none"> 新規ジェネリック (ファインテック) 細胞培養材料 		<ul style="list-style-type: none"> エルデカルシトール (ファインテック) 	12億円	

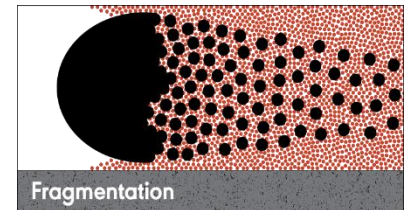
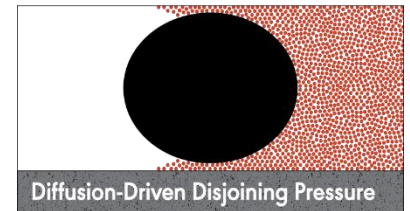
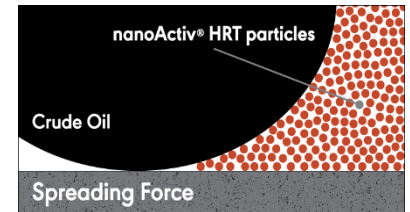
合計 **134億円**

オイル&ガス材料



Brownian Motion/Diffusion
⇒ Spreading Force

Wasan & Nikolov, *Nature*, Vol. 423, 2003.

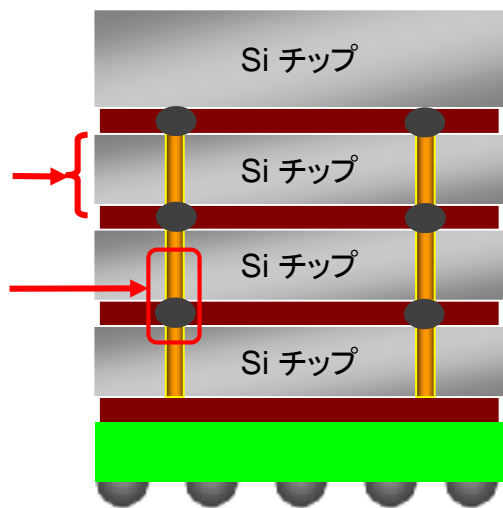


三次元実装材料

TSV加工の課題

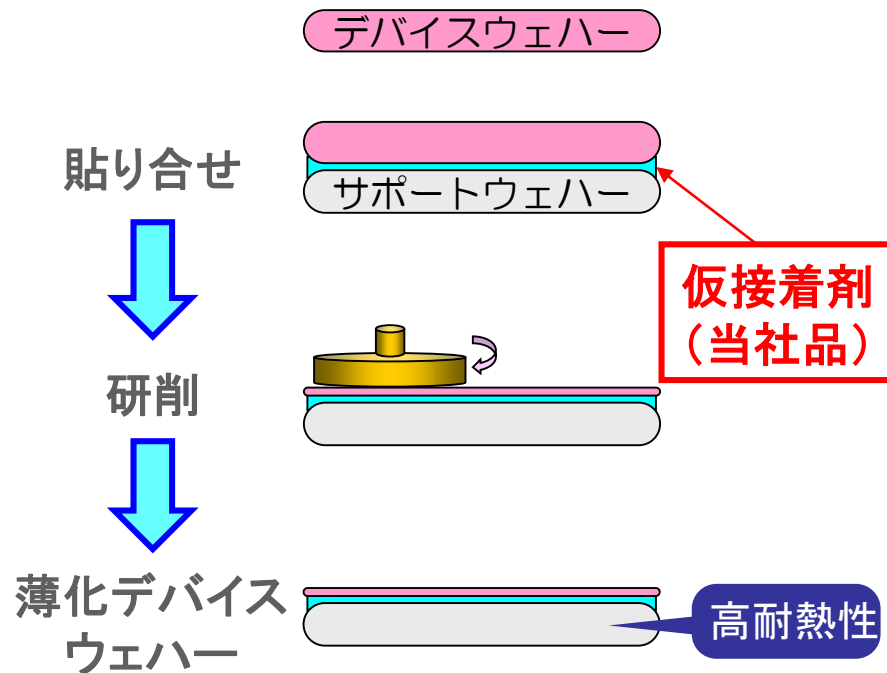
- 基板の薄化 (< 50um)

- TSV形成に高温プロセス



高温プロセスに対応した
薄化ウェハー取扱い技術が必要
⇒ 仮接着システム

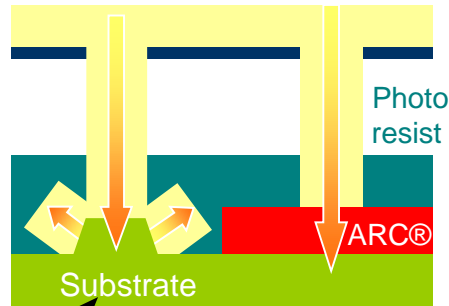
仮接着システム使用



高温プロセス 対応可

EUV下層膜

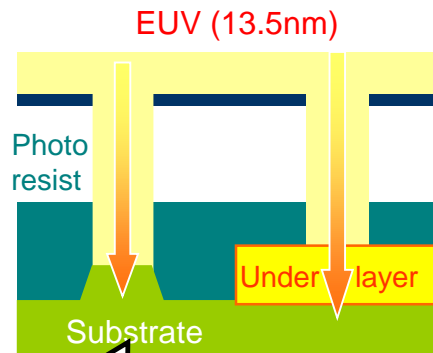
従来のリソグラフィー



基板からの反射

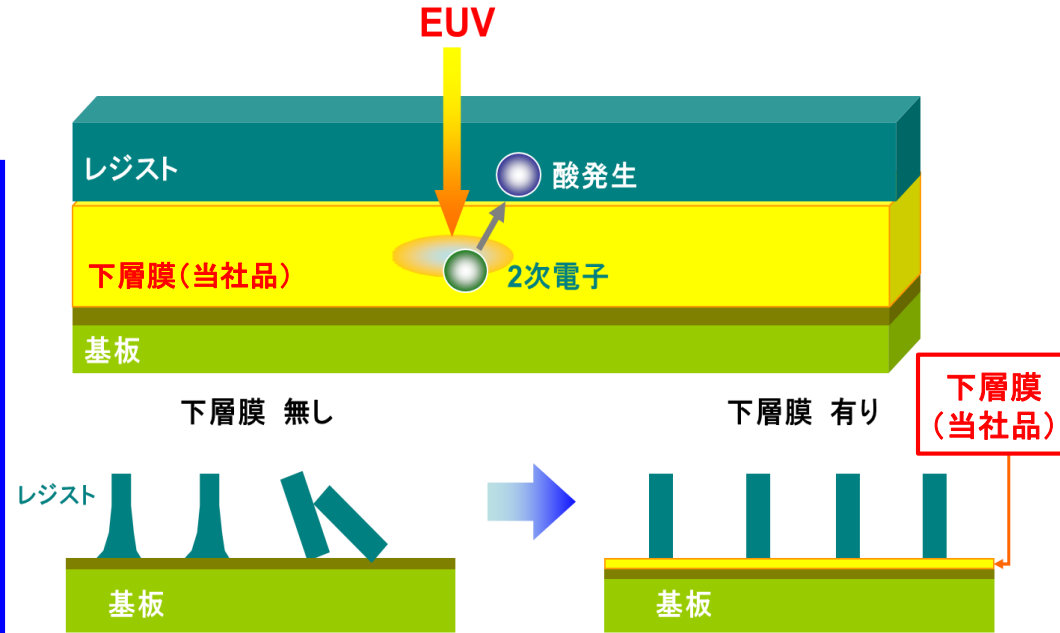
基板界面で光が反射し、ARC®のような反射防止膜が必要

EUVリソグラフィー



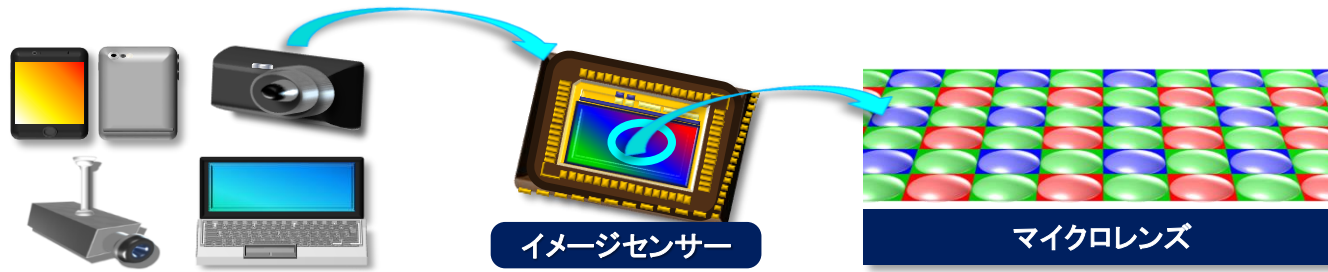
EUV光は基板を透過

EUVは界面反射なし(透過) 反射防止機能は不要

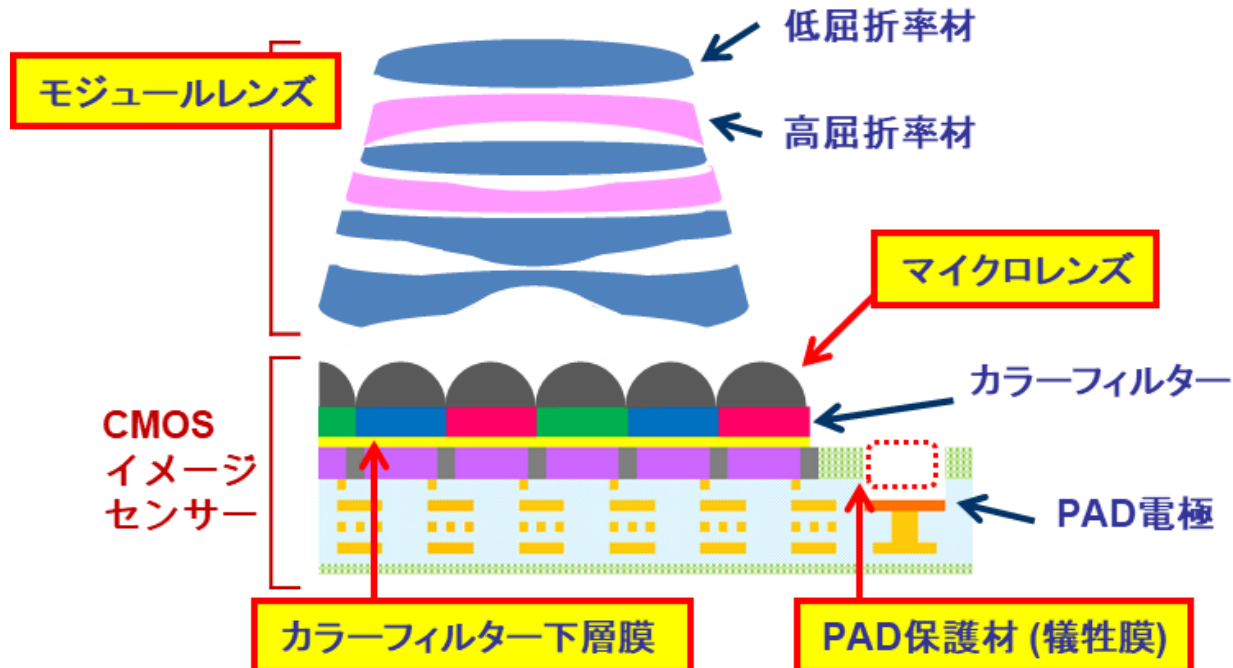


超微細パターン(<20nm)のため、容易に基板の影響を受けて形状悪化、倒れが発生

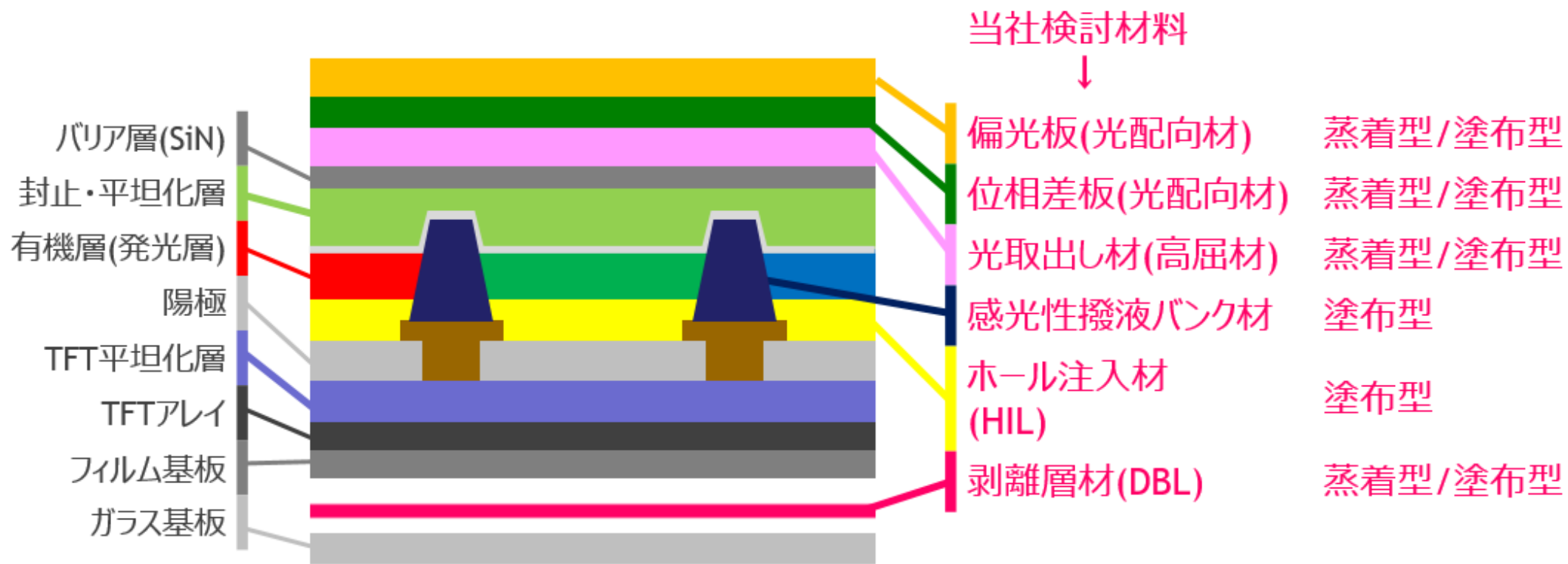
CMOSイメージセンサー材料



当社材料

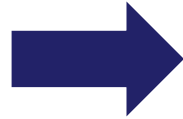
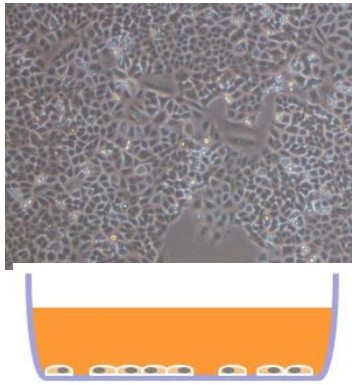


有機EL材料



細胞培養材料

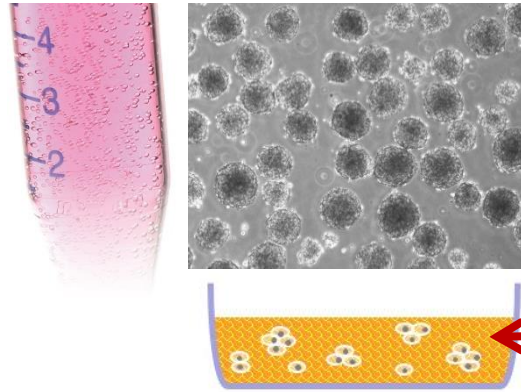
Conventional 2D method



New 3D method

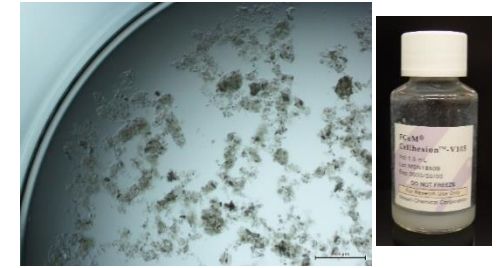
FCeM[®]

細胞の大量培養または品質向上を実現



Cellhesion[®]

間葉系幹細胞分散培養基材



- ・iPS/ES細胞や間葉系幹細胞などを大量培養する際に使う添加剤
- ・当社材を加えることで、細胞を均一に分散・浮遊させられる

三次元培養培地作製キット



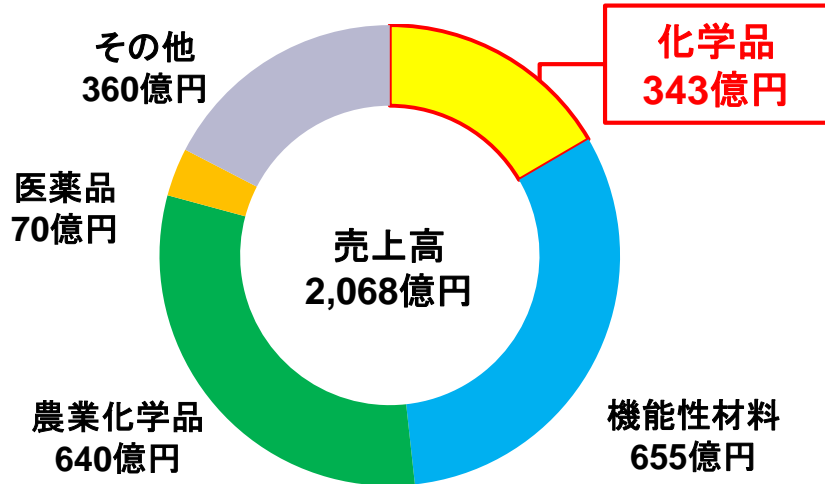
三次元培養キット



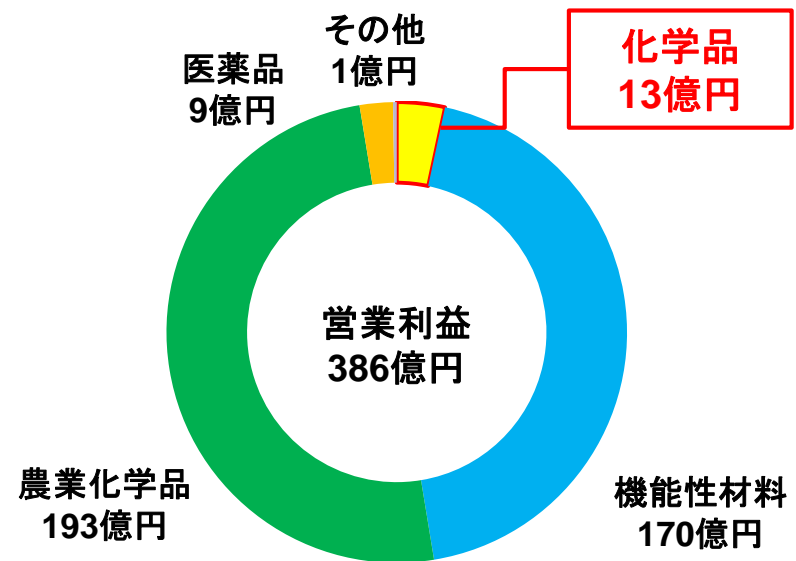
(白紙)

化学品セグメント概況- (A) 業績

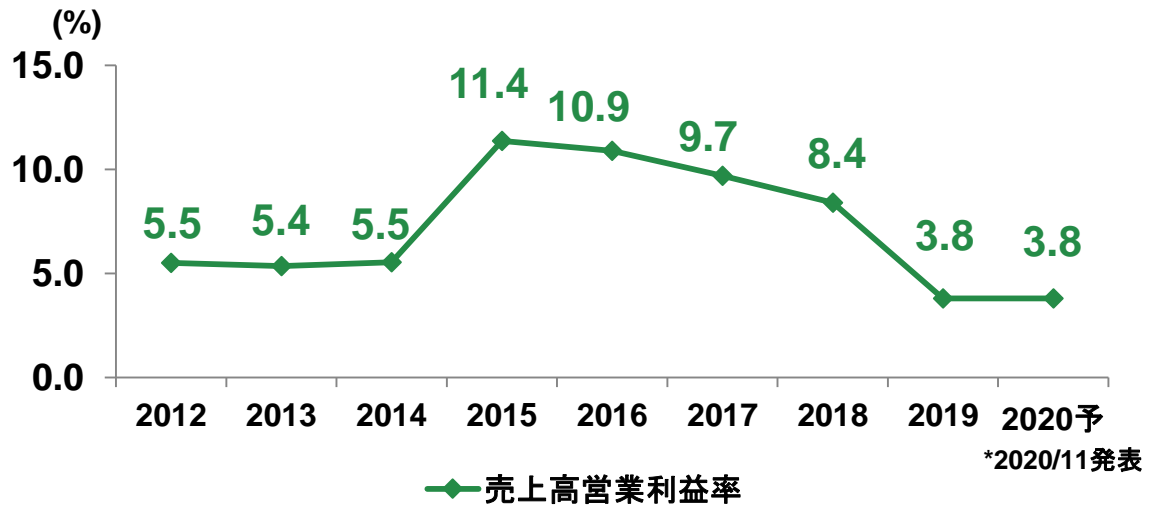
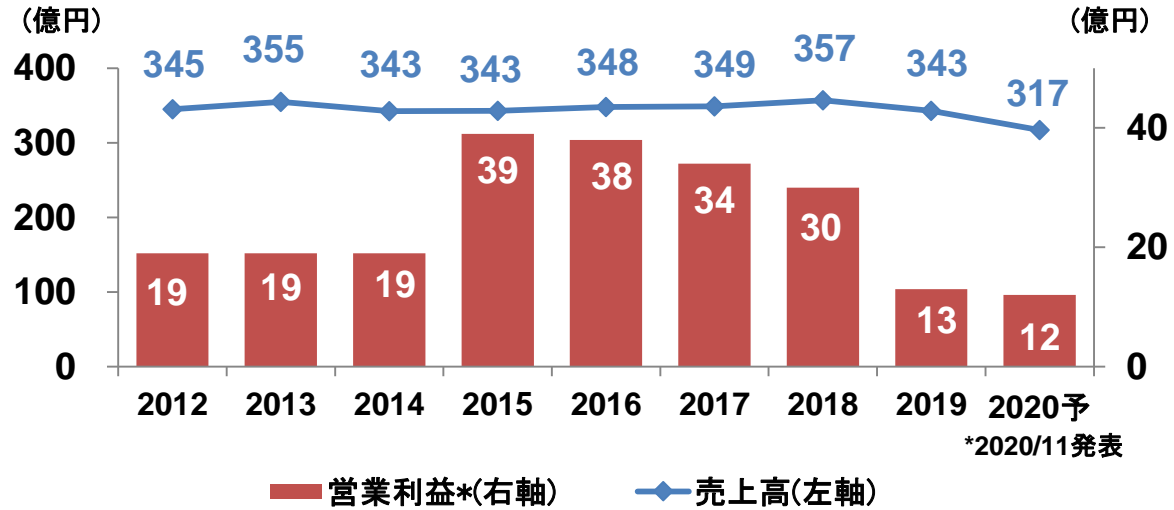
1. 2019年度 売上高構成



2. 2019年度 営業利益構成 (新方式*)



3. 化学品業績推移

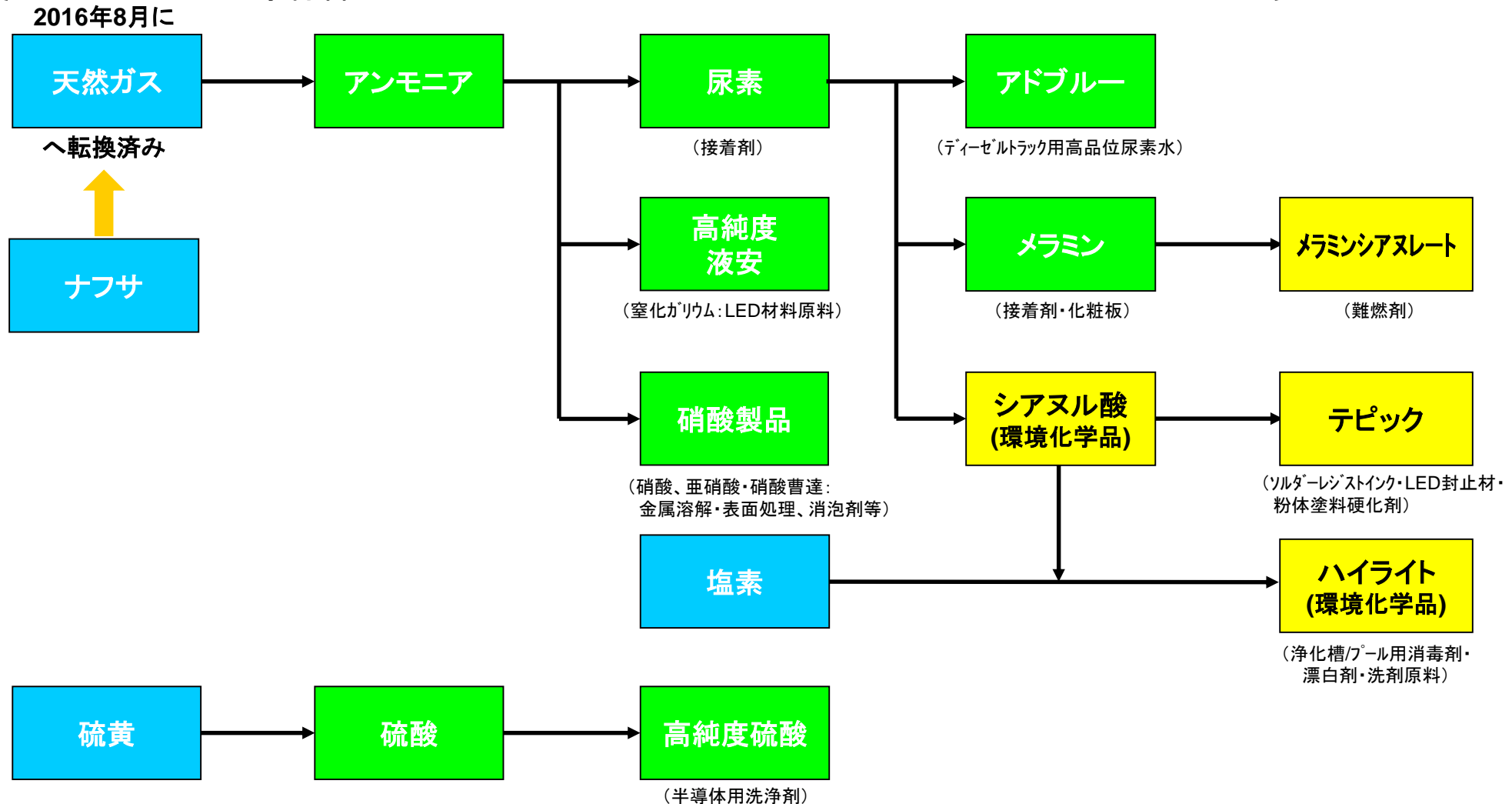


*2019年度より新方式セグメント別営業利益(p14参照)

化学品セグメント概況- (B) 主要製品製造フロー

- ◆基礎化学品主要製品 : アンモニア系製品と硫酸系製品
- ◆2019年度アンモニア国内生産能力シェア11%、高い自消率による付加価値向上

 = 社外調達原材料
 = 基礎化学品
 = ファインケミカル



化学品セグメント概況- (C) 主要製品売上高成長率

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率(1)								
		2019実績			2020予想 (2020/5 発表)			2020予想 (2020/11 発表)		
		上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
テピック	◆(用途) 電材向け(ウルタ [®] -レジストインキ、LED封止材) 一般向け(粉体塗料硬化剤) ◆世界最大メーカー	+5%	+3%	+4%	+5%	+7%	+6%	-10%	+1%	-4%
環境 化学品	◆(ハイライト用途) 塩素化イソシアヌル酸を主原料とし、 プール、浄化槽等の殺菌、消毒に使用	+2%	-6%	-2%	+1%	+20%	+9%	-9%	+22%	+4%
ファインケミカル合計 上記2製品の2019年度実績ファインケミカル売上高に占める割合: 83%		+3%	-1%	+1%	+20%	+28%	+24%	+3%	+21%	+12%
メラミン	◆(用途) 接着剤、化粧板	0%	-22%	-12%	-34%	-26%	-30%	-55%	-49%	-52%
尿素・ アドブルー	◆(用途) 接着剤、 ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水	+7%	+5%	+6%	+7%	+6%	+6%	-5%	-1%	-3%
高純度 硫酸	◆(用途) 半導体用洗浄剤 ◆国内最大メーカー	-2%	+12%	+5%	+19%	+15%	+17%	+14%	+19%	+17%
硝酸製品	◆硝酸、亜硝酸・硝酸曹達 (用途) 金属溶解・表面処理、消泡剤等	-4%	-10%	-7%	+14%	+19%	+17%	-2%	+7%	+3%
基礎化学品合計 上記4製品の2019年度実績基礎化学品売上高に占める割合: 53%		-2%	-8%	-6%	-8%	-4%	-6%	-20%	-13%	-16%

(1) 2020年度より、ファインオキシコール(化粧品原料、2019年度実績売上高約15億円)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

(白紙)

化学セグメント概況 - (D-1)セグメント収益動向

(億円)

	2019実績(A)							2020予想 (2020/5発表)					2020予想(B) (2020/11発表)						増減 (B)-(A)			
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	84	84	168	87	88	175	343	85	85	170	186	356	74	73	147	81	89	170	317	-21	-5	-26
ファイン	26	26	52	26	27	53	105	32	32	64	67	131	27	27	54	29	35	64	118	+2	+11	+13
基礎	58	58	116	61	61	122	238	53	53	106	119	225	47	46	93	52	54	106	199	-23	-16	-39
営業利益	9	-6	3	5	5	10	13	12	0	12	15	27	7	-8	-1	7	6	13	12	-4	+3	-1

*2020年度より、ファインオキシコール(FO、化粧品原料)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

2020 2Q実績

<前年同期比>

2020 1Q実績

<前年同期比>

<2020/5業績予想比>

<2020/5業績予想比>

- (ファイン)
- ◆ 減収: テピック一般(海外)・電材(車載向け)、環境(プール向け)
 - ◆ 在庫変動影響(プラス要因)
 - ◆ 売上高増加(FO*移管影響+3億円)、営業利益増加
- (基礎)
- ◆ 増収: 高純度硫酸(半導体洗浄用途)
 - ◆ 減収: メラミン国内(住宅着工減)・輸出(スプレッド重視で数量減の方針)、尿素・アドブルー、硝酸製品
- (合計)
- ◆ 売上高減少(FO*移管影響-3億円)、営業利益減少
 - ◆ 売上高-10億円、営業利益-2億円

- (ファイン)
- ◆ 売上高下ぶれ: テピック一般・電材、環境
 - ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎)
- ◆ 売上高下ぶれ: メラミン国内・輸出、尿素・アドブルー、高純度硫酸、硝酸製品
 - ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (合計)
- ◆ 売上高-11億円、営業利益-5億円

- (ファイン)
- ◆ 減収: テピック一般(海外)・電材(車載向け)、環境(輸出増収、国内プール・SPA向け減収)
 - ◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
 - ◆ 売上高増加(FO*移管影響+3億円)、営業利益減少
- (基礎)
- ◆ 増収: 高純度硫酸(半導体洗浄用途)
 - ◆ 減収: メラミン国内(住宅着工減)・輸出(スプレッド重視で数量減の方針、市況低迷)、硝酸製品(コンデンサー)尿素・アドブルー(アドブルートラック向け低調)
 - ◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
- (合計)
- ◆ 売上高減少(FO*移管影響-3億円)、営業利益減少
 - ◆ 売上高-11億円、営業利益-2億円

- (ファイン)
- ◆ 売上高上ぶれ: テピック一般(海外)
 - ◆ 売上高下ぶれ: テピック電材(車載向け)、環境(輸出上ぶれ、国内プール・SPA向け下ぶれ)
 - ◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
- (基礎)
- ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
 - ◆ 売上高下ぶれ: 尿素・アドブルー(アドブルートラック向け低調)メラミン(国内需要下ぶれ、輸出予想通り)、高純度硫酸、硝酸製品(需要下ぶれ、価格改訂未達)
 - ◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
- (合計)
- ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
 - ◆ 売上高-12億円、営業利益-8億円

化学セグメント概況 – (D-2)セグメント収益動向

2020上実績

<前年同期比>

- (ファイン) ◆ 減収: テピック一般(海外)・電材(車載向け)、環境(輸出増収、国内プール・SPA向け減収)
- ◆ 売上高増加(FO*移管影響+6億円)、営業利益減少
- (基礎) ◆ 増収: 高純度硫酸(半導体洗浄用途)
- ◆ 減収: メラミン国内(住宅着工減)・輸出(スプレッド重視で数量減の方針、市況低迷)、硝酸製品(コンデンサー)尿素・アドブルー(アドブルートラック向け低調)
- ◆ 売上高減少(FO*移管影響-6億円)、営業利益減少
- (合計) ◆ 売上高-21億円、営業利益-4億円

< 2020/5業績予想比>

- (ファイン) ◆ 売上高下ぶれ: テピック一般(海外)・電材(車載向け)、環境(輸出上ぶれ、国内プール・SPA向け下ぶれ)
- ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高下ぶれ: 尿素・アドブルー(アドブルートラック向け低調)メラミン(国内輸出ともに需要下ぶれ、市況低迷)、高純度硫酸、硝酸製品(需要下ぶれ、価格改訂未達)
- ◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
- ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (合計) ◆ 売上高-23億円、営業利益-13億円

2020下予想

<前年同期比>

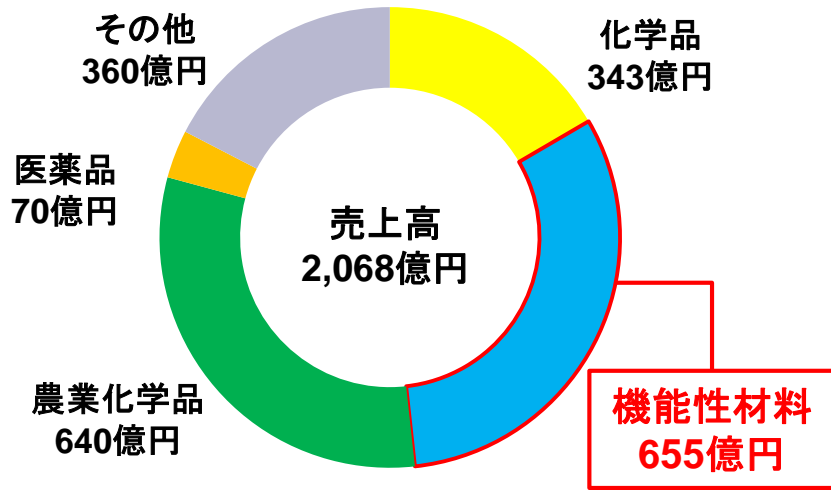
- (ファイン) ◆ 増収: テピック一般(海外)、環境(輸出増収、国内シアヌル酸増設・外販増)
- ◆ 横ばい: テピック電材(車載向け減収、その他増収)
- ◆ 固定費増加、原燃料安
- ◆ 売上高増加(FO*移管影響+8億円)、営業利益増加
- (基礎) ◆ 増収: 高純度硫酸(半導体洗浄用途)、硝酸製品(他社撤退)
- ◆ 減収: メラミン国内(住宅着工減)・輸出(スプレッド重視で数量減の方針、市況低迷)、尿素・アドブルー(アドブルー回復、尿素低調)
- ◆ 在庫変動影響(プラス要因)、原燃料安
- ◆ 売上高減少(FO*移管影響-8億円)、営業利益増加
- (合計) ◆ 売上高-5億円、営業利益+3億円

< 2020/5業績予想比>

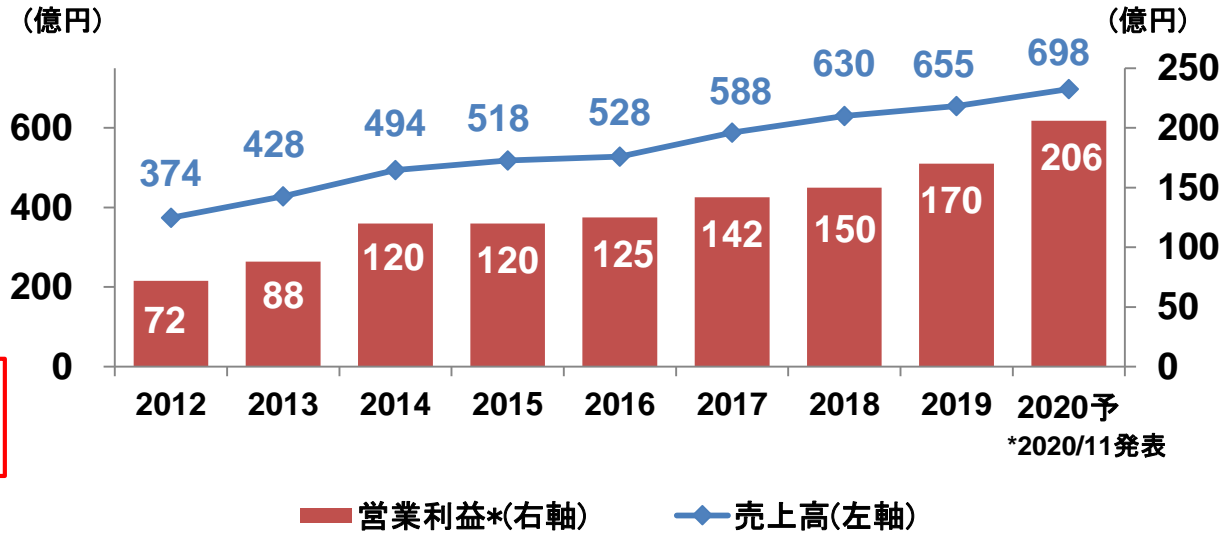
- (ファイン) ◆ 売上高上ぶれ: テピック一般(海外)、環境(輸出上ぶれ、国内プール・SPA向け下ぶれ)
- ◆ 売上高下ぶれ: テピック電材(車載向け)、
- ◆ 在庫変動影響(マイナス要因)、原燃料安
- ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高上ぶれ: 高純度硫酸
- ◆ 売上高下ぶれ: メラミン(国内輸出ともに需要下ぶれ、市況低迷)、尿素・アドブルー(アドブルー回復未達)、硝酸製品(需要下ぶれ、価格改訂未達)
- ◆ 在庫変動影響(プラス要因)、原燃料安
- ◆ 売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ
- (合計) ◆ 売上高-16億円、営業利益-2億円

機能性材料セグメント概況 – (A) 業績

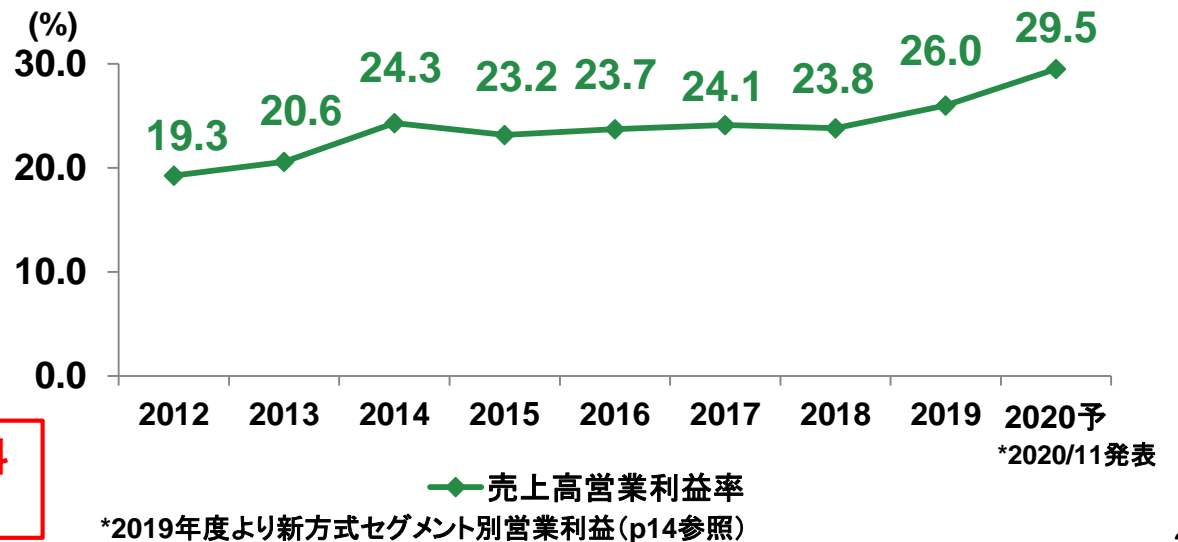
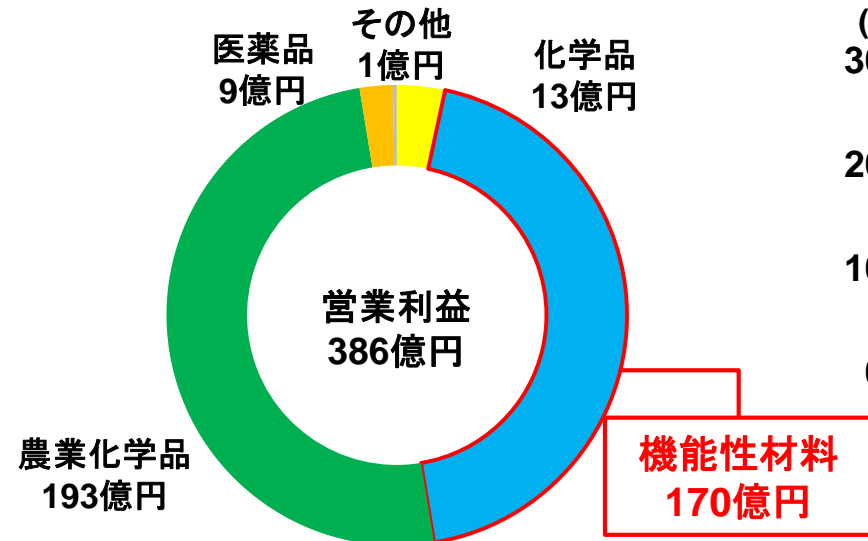
1. 2019年度 売上高構成



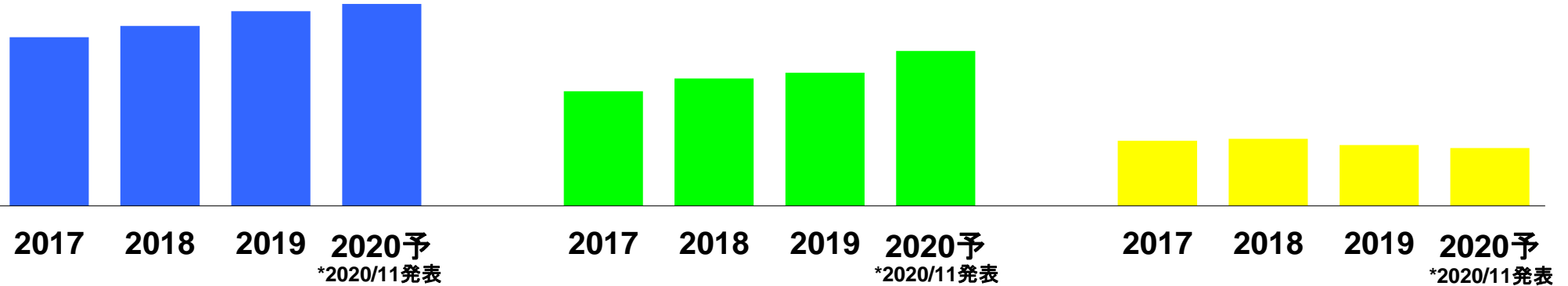
3. 機能性材料業績推移



2. 2019年度 営業利益構成 (新方式*)



機能性材料セグメント概況 – (B) 2017-2020年度 売上高構成推移



< ディスプレイ材料 >

サンエバー：液晶配向材用ポリイミド

< 半導体材料 >

ARC®：半導体用反射防止コーティング材
 多層材料：半導体用多層プロセス材料
 (OptiStack®)

その他
 新材料：EUV材料、三次元実装材
 CMOSイメージセンサー材料等

< 無機コロイド >

スノーテックス：研磨材(シリコンウェハー、
 化合物半導体、半導体CMP等)
 特殊鋼板

オルガノゾル・
 モノマーゾル：電子機器用フィルム表面処理、
 樹脂添加剤

オイル&ガス材料：シェールオイル・ガス探掘効率向上材

機能性材料セグメント概況 – (C) 主要製品売上高成長率

主要製品	前年同期比 連結売上高成長率									
	2019実績			2020予想 (2020/5 発表)			2020予想 (2020/11 発表)			
	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計	
サンエバー	+3%	+14%	+9%	+7%	+1%	+4%	+7%	0%	+3%	
ディスプレイ材料合計	+3%	+14%	+8%	+7%	+3%	+5%	+7%	+1%	+4%	
ARC®	KrF (ARC®)	-5%	+12%	+3%	+1%	-4%	-2%	+14%	-3%	+5%
	ArF (ARC®)	-3%	+5%	+1%	+6%	+5%	+6%	+16%	+10%	+13%
	ARC® 小計	-3%	+9%	+3%	+5%	+2%	+3%	+16%	+6%	+11%
	その他半導体材料 計(1)	-8%	+25%	+8%	+45%	+28%	+35%	+51%	+17%	+31%
半導体材料合計	-4%	+13%	+4%	+15%	+9%	+12%	+25%	+9%	+16%	
スノーテックス	-2%	-2%	-2%	+6%	+7%	+7%	+2%	0%	+1%	
オルガノゾル・モノマーゾル	-11%	-14%	-13%	-5%	+2%	-1%	-15%	-3%	-9%	
オイル & ガス材料	-64%	-29%	-52%	+29%	+70%	+50%	-91%	-15%	-52%	
無機コロイド合計	-11%	-8%	-9%	+1%	+7%	+4%	-8%	-2%	-5%	
上記3製品の2019年度連結無機売上高に占める割合: 82%										

(1) 多層材料(OptiStack®)、EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材等

◆ 半導体材料 次世代ロードマップ進行に沿った評価機器、開発設備、生産設備投資

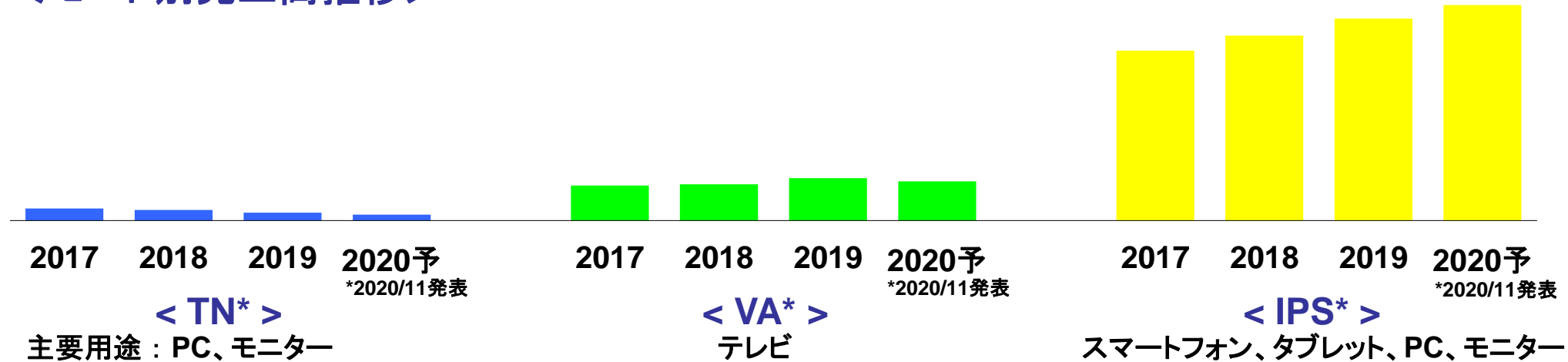
主要投資(承認ベース):

- 14年 評価機器11億円
- 15年 開発設備28億円・評価機器8億円、増強8億円、NCK*7億円、半導体材料研5億円
- 16年 NCK*26億円、評価機器10億円、半導体材料研4億円
- 17年 半導体材料研4億円
- 18年 ARC®増強2億円、製造試験設備2億円
- 19年 製造試験設備1億円
- 20年 半導体材料研新棟20億円、評価機器4億円、製造試験設備2億円

*NCK: 連結子会社(韓国)、DP: 半導体材料のR&D・製造・販売

機能性材料セグメント概況 – (D) サンエバー

<モード別売上高推移>



<モード別前年同期比売上高成長率>

	2019実績			2020予想 (2020/5発表)			2020予想 (2020/11発表)		
	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
TN	↓↓↓↓	↓↓	↓↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓
VA	↑↑↑	↑↑	↑↑	↑	↑	↑	↓	↓↓	↓
IPS	↑	↑↑	↑	↑	↑	↑	↑↑	↑	↑
合計	+3%	+14%	+9%	+7%	+1%	+4%	+7%	0%	+3%

前年同期比売上高増減

+20～+29%	↑↑↑
+10～+19%	↑↑
+0～+9%	↑
-0～-9%	↓
-10～-19%	↓↓
-20～-29%	↓↓↓
-30～-39%	↓↓↓↓

*TN : Twisted Nematic, VA : Vertical Alignment, IPS : In-Plane Switching

機能性材料セグメント概況 – (E-1) セグメント収益動向

(億円)

	2019実績(A)							2020予想 (2020/5発表)					2020予想(B) (2020/11発表)							増減 (B)-(A)		
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	151	163	314	170	171	341	655	169	172	341	360	701	171	175	346	175	177	352	698	+32	+11	+43
営業利益	40	44	84	47	39	86	170	42	45	87	94	181	53	54	107	49	50	99	206	+23	+13	+36

半導体その他新材料: EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材合計

2020 1Q実績 <前年同期比>

- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(スマホ、非スマホ好調)、
ラビングIPS増収(非スマホ好調)、VA増収、TN減収
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料・その他新材料増収)
ロジック好調維持、DRAM・フラッシュ回復、固定費減少4億円
- ◆ 無機減収、減益
スノーテックス増収(一般用途横ばい・研磨材増収)、
オルガノ・モノマーゾル減収、
オイル&ガス材料減収(シェールオイル市場低迷)
- ◆ 固定費減少合計4億円
- ◆ 売上高+20億円、営業利益+13億円

< 2020/5業績予想比>

- ◆ DP売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
光IPS下ぶれ(スマホ下ぶれ)、ラビングIPS上ぶれ(非スマホ上ぶれ)、
VA下ぶれ、TN下ぶれ、固定費下ぶれ3億円(プラス要因)
- ◆ 半導体売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
ARC®上ぶれ・その他下ぶれ(多層材料・その他新材料下ぶれ)
半導体市場全般好調、固定費下ぶれ5億円(プラス要因)
- ◆ 無機売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ
スノーテックス上ぶれ(自動車向け等一般用途下ぶれ・研磨材上ぶれ)、
オルガノ・モノマーゾル下ぶれ、
オイル&ガス材料下ぶれ(シェールオイル市場低迷)
固定費下ぶれ2億円(プラス要因)
- ◆ 固定費下ぶれ合計10億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+2億円、営業利益+11億円

2020 2Q実績 <前年同期比>

- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(非スマホ好調)、ラビングIPS減収(光ヘシフト)、
VA減収、TN減収、固定費増加1億円
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料・その他新材料増収)
半導体市場全般好調、固定費減少2億円
- ◆ 無機減収、増益
スノーテックス減収(一般用途減収・研磨材増収)、オルガノ・モノマーゾル減収、
オイル&ガス材料減収(シェールオイル市場低迷)、固定費減少2億円
- ◆ 固定費減少合計3億円
- ◆ 売上高+12億円、営業利益+10億円

< 2020/5業績予想比>

- ◆ DP売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ
光IPS上ぶれ(非スマホ好調)、ラビングIPS上ぶれ(スマホ上ぶれ)、
VA下ぶれ、TN下ぶれ、固定費下ぶれ2億円(プラス要因)
- ◆ 半導体売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
ARC®上ぶれ・その他上ぶれ(多層材料・その他新材料上ぶれ)
半導体市場全般好調、固定費下ぶれ2億円(プラス要因)
- ◆ 無機売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
スノーテックス下ぶれ(自動車向け等一般用途下ぶれ・研磨材予想通り)、
オルガノ・モノマーゾル下ぶれ、
オイル&ガス材料下ぶれ(シェールオイル市場低迷)
固定費下ぶれ2億円(プラス要因)
- ◆ 固定費下ぶれ合計6億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+3億円、営業利益+9億円

機能性材料セグメント概況 – (E-2) セグメント収益動向

半導体その他新材料: EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材合計

2020上実績

<前年同期比>

- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(非スマホ好調)、ラビングIPS減収(非スマホ好調も光ヘシフト)、VA減収(拡販も一部顧客生産減少)、TN減収、固定費増加2億円
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料・その他新材料増収)
半導体市場全般好調、固定費減少6億円
- ◆ 無機減収、増益
スノーテックス増収(一般用途減収・研磨材増収)、
オルガノ・モノマーゾル減収、
オイル&ガス材料減収(シェールオイル市場低迷)、固定費減少3億円
- ◆ 固定費減少合計7億円
- ◆ 売上高+32億円、営業利益+23億円

< 2020/5業績予想比>

- ◆ DP売上高予想通り、営業利益上ぶれ
光IPS下ぶれ(非スマホ好調もスマホ下ぶれ)、
ラビングIPS上ぶれ(スマホ、非スマホ上ぶれ)、VA下ぶれ、TN下ぶれ、
固定費下ぶれ5億円(プラス要因)
- ◆ 半導体売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
ARC®上ぶれ・その他上ぶれ(多層材料上ぶれ・その他新材料下ぶれ)
半導体市場全般好調、固定費下ぶれ7億円(プラス要因)
- ◆ 無機売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ
スノーテックス下ぶれ(自動車向け等一般用途下ぶれ・研磨材上ぶれ)、
オルガノ・モノマーゾル下ぶれ、
オイル&ガス材料下ぶれ(シェールオイル市場低迷)
固定費下ぶれ3億円(プラス要因)
- ◆ 固定費下ぶれ合計16億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+5億円、営業利益+20億円

2020下予想

<前年同期比>

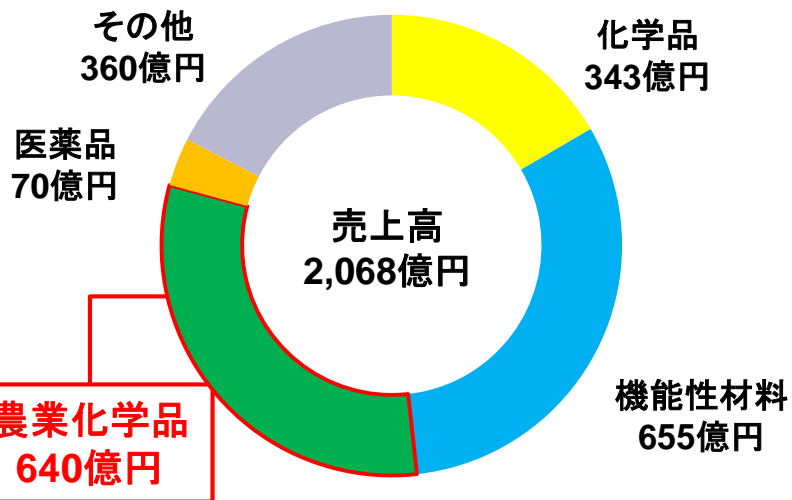
- ◆ DP増収、減益
光IPS増収(非スマホ好調)、ラビングIPS減収(光ヘシフト)、
VA減収(拡販も一部顧客生産減少)、TN減収、固定費増加1億円
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料増収・その他新材料減収)
半導体市場好調維持、固定費減少3億円
- ◆ 無機減収、増益
スノーテックス横ばい(一般用途減収・研磨材増収)、
オルガノ・モノマーゾル減収、
オイル&ガス材料減収(シェールオイル市場低迷)
- ◆ 固定費減少合計2億円
- ◆ 売上高+11億円、営業利益+13億円

< 2020/5業績予想比>

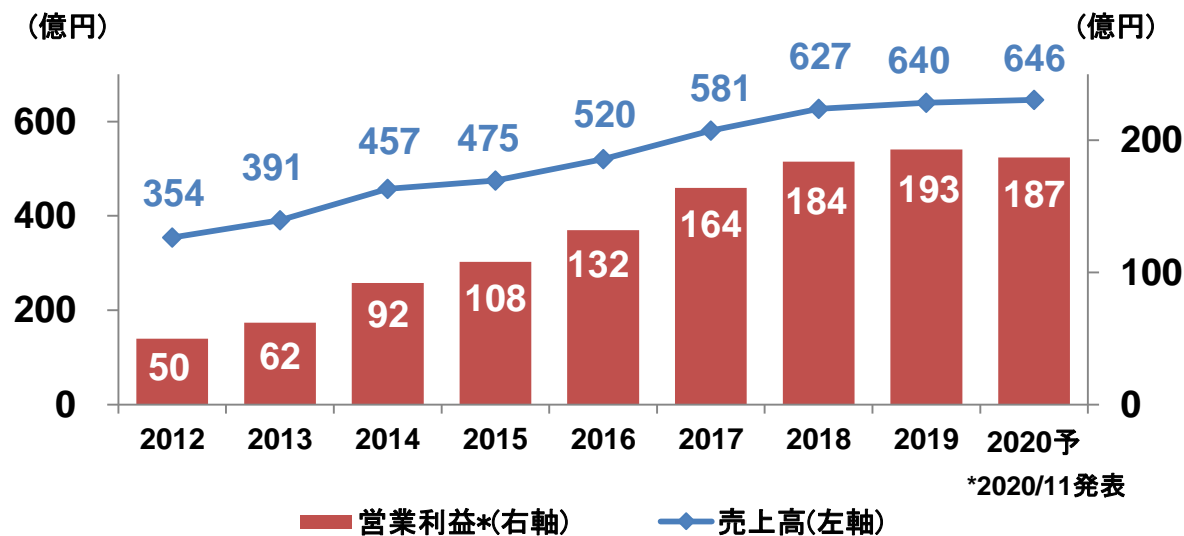
- ◆ DP売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ
光IPS上ぶれ(非スマホ上ぶれ)、ラビングIPS下ぶれ(一部顧客生産減少)、
VA下ぶれ(拡販も一部顧客生産減少)、TN下ぶれ、
固定費下ぶれ2億円(プラス要因)
- ◆ 半導体売上高予想通り、営業利益上ぶれ
ARC®上ぶれ・その他下ぶれ(多層材料・その他新材料下ぶれ)、
在庫変動影響+2億円(プラス要因)
- ◆ 無機売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
スノーテックス下ぶれ(自動車向け等一般用途・研磨材下ぶれ)、
オルガノ・モノマーゾル下ぶれ、
オイル&ガス材料下ぶれ(シェールオイル市場低迷)
- ◆ 固定費下ぶれ合計2億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-8億円、営業利益+5億円

農業化学品セグメント概況- (A) 業績

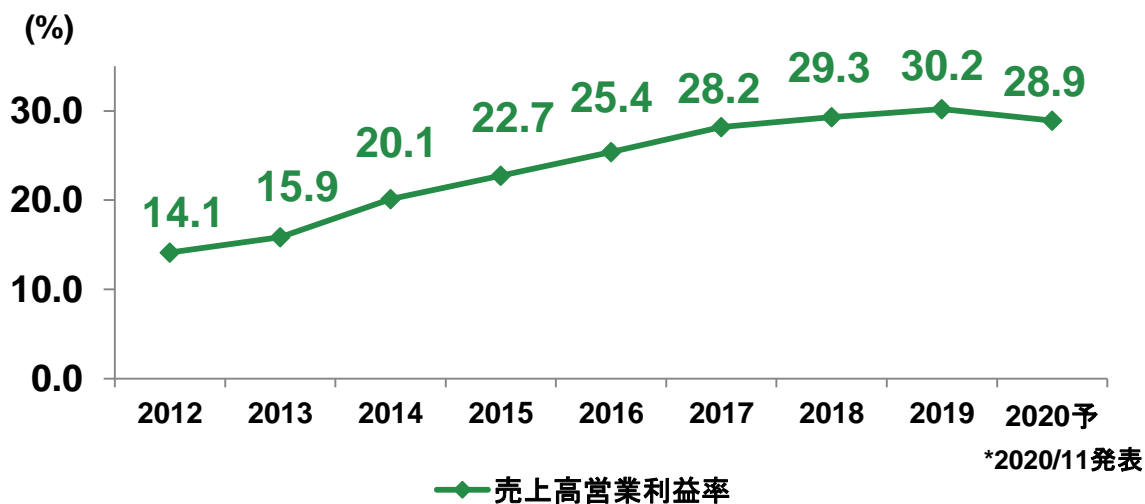
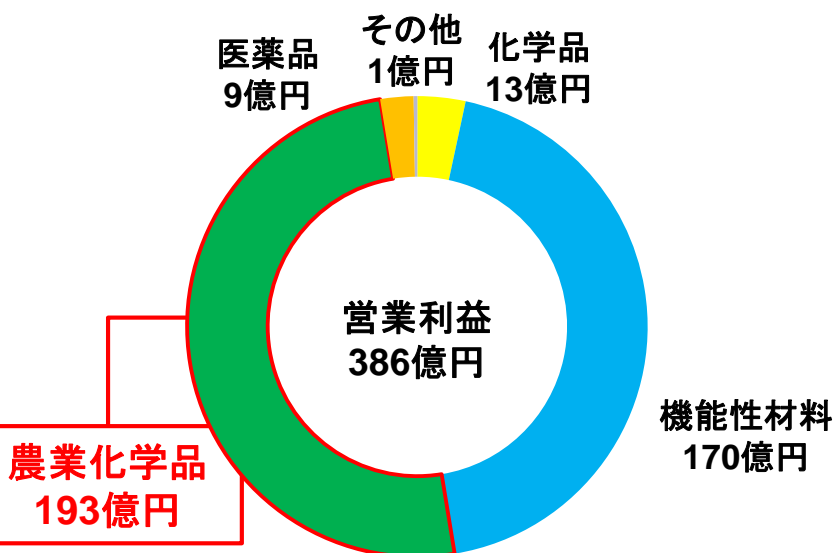
1. 2019年度 売上高構成



3. 農業化学品業績推移



2. 2019年度 営業利益構成(新方式*)



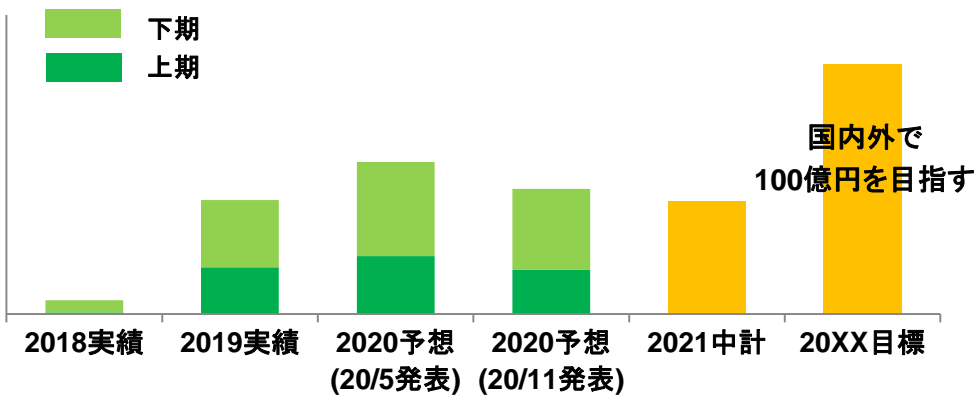
*2019年度より新方式セグメント別営業利益(p14参照)

農業化学品セグメント概況- (B) 主要製品売上高成長率(値引前)

◆国内農薬販売額第1位 (2017年10月～2018年9月)

		前年同期比 連結売上高成長率							
主要製品名 (2019年 売上高順)	種類	2019実績			2020予想 (2020/5発表)	2020予想 (2020/11発表)			
		上	下	計	計	上実績	同左計画比 (2020/5作成、 非開示)	下	計
フルララネル	動物薬	-10%	-8%	-9%	-9%	-20%	上ぶれ	+3%	-11%
ラウンドアップ(1)	除草	+7%	+5%	+6%	0%	-1%	下ぶれ	+1%	0%
アルテア	除草	+7%	+3%	+4%	+13%	+21%	下ぶれ	+15%	+16%
タルガ	除草	-21%	-16%	-19%	-4%	-11%	上ぶれ	+23%	+4%
グレーシア	殺虫	+2900%以上	+450%以上	+700%以上	+33%	-6%	下ぶれ	+21%	+10%
パーミット	除草	-30%	+28%	+8%	-5%	-26%	下ぶれ	+1%	-5%
ライメイ	殺菌	-37%	-4%	-16%	+8%	+26%	上ぶれ	+5%	+11%
クインテック	殺菌	-	-	-	+36%	-	上ぶれ	+4%	+25%
セグメント合計	-	-1%	+6%	+3%	+2%	-7%	下ぶれ	+7%	+1%

◆グレーシア売上高長期成長予想



(1) ラウンドアップ:2020年1月22日開催 ラウンドアップの現状説明会資料参照
https://www.nissanchem.co.jp/news_release/news/n2020_01_23.pdf
 マックスロードALは2019年度ラウンドアップ売上高全体の19%を占める

◆クインテック(キノキシフェン)

- ・2019年11月米国コルテバ社より事業を買収、2019年12月販売開始
- ・クインテック = キノキシフェン(有効成分)を含む製品群中の主製品
- ・果樹、野菜用殺菌剤、主な市場は米国
- ・果樹(特にブドウ)や野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的

農業化学品セグメント概況- (C) 主要製品

上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
2002	ラウンドアップ	除草剤	買収	米国モンサント社より国内事業を買収、継続成長中
2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
2009	プレバソン	殺虫剤	導入	米国デュポン社より導入
2010	ラウンドアップマックスロードAL	除草剤	自社開発	一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤 2016年ALⅡ、2018年ALⅢ上市、急成長
2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
2013	フルララネル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MSD社*向けにブラベクト原薬として出荷開始
2014	ブラベクト**	ペット動物用医薬品	-	2014年4月欧州、6月米国、15年7月日本で上市
2015	トレファノサイド	除草剤	導入	米国ゴーワン社がダウ社より買収、当社は国内販売独占権を継承
2017	ネクスター	殺菌剤	導入	スイス シンジェンタ社より導入
2017	トランスフォーム™/エクシード™/ ビレスコ™	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
2017	エグゾルト**	家畜動物用医薬品	-	9月米国MSD社による、欧州でのニワトリ用製品上市
2018	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効、ミツバチへの影響が少ない 2018年韓国で上市(ピーク時売上高目標100億円)
2019	クインテック(キノキシフェン)	殺菌剤	買収	2019年11月米国コルテバ社より世界事業を買収 果樹野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的

新製品パイプライン

2023	未定(ピラプロポイン)(NC-241)	殺菌剤	自社開発	汎用性(ピーク時売上高目標50億円)
2024	未定(ジメスルファゼット)(NC-653)	除草剤	自社開発	イネへの優れた安全性があり、抵抗性ホタルイや 難防除雑草クログワイに高い効果を持つ (ピーク時売上高目標30億円)
2027	未定(NC-656)	除草剤	自社開発	抵抗性イネ科雑草(ヒエ、アゼガヤ)に優れた効果を持つ 当社初の水稲用茎葉散布除草剤(ピーク時売上高目標100億円)

*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

**ブラベクト、エグゾルト:MSD社の販売製品名

◆2019年度連結実績 輸出比率:39%(アジア21%、欧州・アフリカ65%、北・中南米14%) ※フルララネルを含める

新製品群(グレーシア、クインテック、NC-241、653、656)のピーク売上高目標合計300億円

農業化学品セグメント概況- (D-1) フルララネル

◆フルララネル(Fluralaner)

- BRAVECTO・EXZOLTの有効成分として、当社がMSD社*に供給
- BRAVECTOシリーズ・EXZOLTは現在100か国で発売中
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
 - ・2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
 - ・UK、ドイツ、フランス等一部欧州諸国では、2029年2月まで延長済み、米国は延長申請中

*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門の
MSD Animal Health 社の略称

◆ブラベクト(BRAVECTO)

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- さらに、通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間**にわたって持続する

**クリイロコイタマダニは8週間

- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)

2014年4月欧州、以降米国、日本等で上市、2019年7月中国上市

2020年7月1か月剤(子犬向け)米国販売承認

- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)

猫向け

2016年7月欧州、以降米国、日本等で上市

犬向け

2017年1月米国・欧州等で上市、2020年8月日本販売承認



◆ブラベクトプラス(BRAVECTO Plus)

- 猫向け外内部寄生虫スポットオン合剤

2018年7月欧州、以降米国等で上市、2020年8月日本販売承認

◆エグゾルト(EXZOLT)

- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)

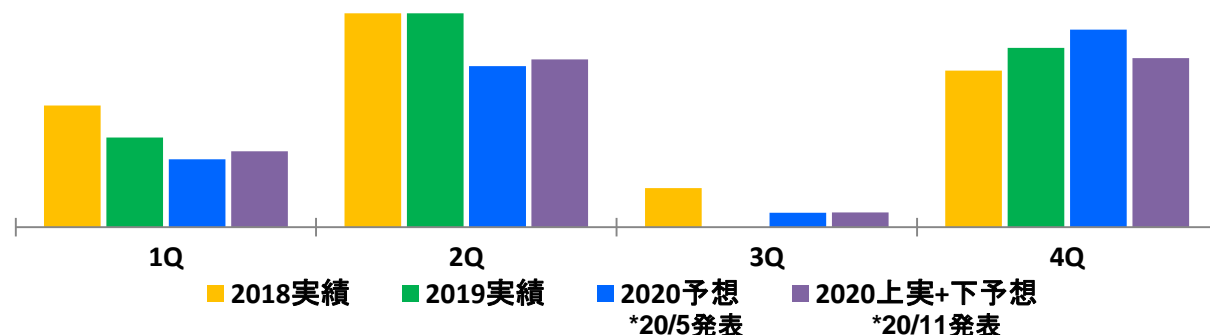
2017年9月欧州、以降韓国、中東等で上市

農業化学品セグメント概況- (D-2) フルララネル

◆当社売上高構成

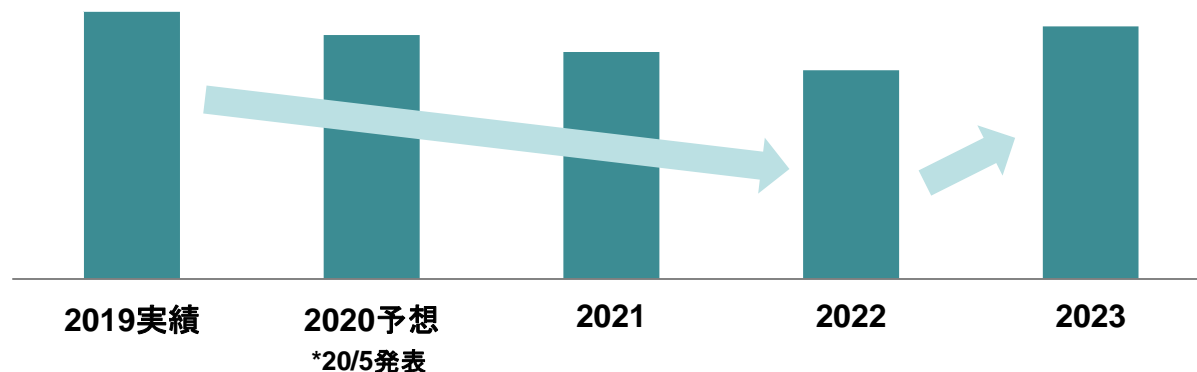
MSD社へのフルララネル販売、MSD社からのランニングロイヤリティ収入(毎年2月、8月受領)

◆2018~2020年四半期別売上高推移(ロイヤリティ収入含む)



◆2019~2023年売上高推移イメージ(2020年5月作成)

- ・ブラケット売上高は順調に成長
- ・一方、フルララネルは在庫調整が継続すると見られ、売上高(ロイヤリティ収入含む)は2022年まで減少、2023年に回復の見込み



◆ブラケットの開発分野

ペット向けに新たな内外部寄生虫薬等、家畜向け経皮投与剤を開発中

農業化学品セグメント概況－(E) インド合併会社の設立

Nissan Bharat Rasayan Private Limited(NBR)概要

本社所在地	ハリヤナ(Haryana)州グルガオン(Gurgaon) (ニューデリー近郊)
工場所在地	グジャラート(Gujarat)州サイカ(Saykha)に新設(土地は同州産業開発公社(GIDC)より賃借)
営業開始日	2020年4月1日
事業内容	当社の農薬(グレーシア、ライメイ、クインテック等)原体、中間体を製造し、当社へ販売
従業員数	150-200名(2022年想定)
工場稼働予定	2022年度2Q
株主	当社70%、Bharat Rasayan Ltd(略称BRL)30%
取締役会	当社指名5名、BRL指名2名、中立1名、合計8名

<資金計画(億円)>

設備投資	43	資本金(15億ルピー)	23
運転資金他	24	当社貸付	33
		現地銀行借入	11
所要資金合計	67	資金調達合計	67

Bharat Rasayan Ltd (BRL)概要

設立	1989年(インド大手農薬製造販売会社)
上場	インド国立証取(NSE)、ボンベイ証取(BSE)
主要株主	グプタ(Sat Narain Gupta)会長等創業家一族74.8%
損益状況	2019年度売上高12,151百万ルピー、税引後利益1,576百万ルピー
工場	グジャラート州(Gujarat)ダヘジ(Dahej)、ハリヤナ州(Haryana)ロータク(Rohtak)の2工場
当社との関係	一部当社品を受託生産、グループ会社のBharat Insecticides Ltd(BIL)がタルガ、パルサー、パーミットをインド国内で販売

<当社連結営業利益への貢献予想(概算、億円)>

年度	2021	2022	2023	2024	2025
営業利益	-3	5	12	20	32

当社メリット

- ・信頼できる経験豊富な現地パートナーの協力体制
- ・有効成分の供給源の多様性・安全性確保と、原料不足リスクの低減
- ・国内工場に比べて低い製造コスト
- ・すぐに利用できる工場用地(借地権の正式認可手続き完了済み)
- ・既存の現地企業のM&Aに比べ、経営・財務リスクを大幅に軽減

農業化学品セグメント概況 – (F-1) セグメント収益動向

(億円)

	2019実績(A)							2020予想 (2020/5発表)					2020予想(B) (2020/11発表)					増減 (B)-(A)				
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	147	132	279	55	306	361	640	152	108	260	395	655	146	111	257	82	307	389	646	-22	+28	+6
営業利益	45	49	94	-18	117	99	193	36	31	67	117	184	40	38	78	-7	116	109	187	-16	+10	-6

2020 1Q実績

<前年同期比>

- ◆ 増収: タルガ(輸出前倒し、海外混合剤向け)、アルテア(国内・輸出)、クインテック(輸出)、ライメイ(国内・輸出)、グレーシア(輸出)
- ◆ 減収: フルララネル(プラベクト在庫調整影響)、グレーシア(国内、低温で害虫発生小)、パーミット(輸出、19年度出荷増の反動)、ラウンドアップ(ML: 流通在庫減で減収、AL: 高価格品ALⅢシフトで増収)
- ◆ 固定費増加3億円
- ◆ 在庫変動影響+2億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-1億円、営業利益-5億円

< 2020/5業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ: タルガ(輸出前倒し、海外混合剤向け)、フルララネル(出荷前倒し)、ライメイ(輸出)
- ◆ 売上高下ぶれ: グレーシア(国内、害虫発生小・輸出)、ラウンドアップ(ML: 流通在庫減で下ぶれ、AL: 高価格品ALⅢシフトで上ぶれ)、アルテア(国内供給下ぶれ)、クインテック(輸出)、パーミット(国内)
- ◆ 固定費下ぶれ5億円(プラス要因)
- ◆ 在庫変動影響+3億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-6億円、営業利益+4億円

2020 2Q実績

<前年同期比>

- ◆ 増収: クインテック(輸出)、ラウンドアップ(ML: 横ばい、AL: 高価格品ALⅢシフトで増収)、ライメイ(国内・輸出)、パーミット(輸出)、アルテア(国内・輸出)、
- ◆ 減収: フルララネル(プラベクト在庫調整影響)、タルガ(輸出、GE影響)、グレーシア(輸出)
- ◆ 固定費増加3億円
- ◆ 売上高-21億円、営業利益-11億円

< 2020/5業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ: フルララネル(ロイヤリティ上ぶれ)、ラウンドアップ(ML・ALともに堅調)、クインテック(輸出)、アルテア(国内・輸出)
- ◆ 売上高下ぶれ: タルガ(輸出)、グレーシア(国内、害虫発生小)、ライメイ(輸出)、パーミット(輸出)
- ◆ 固定費下ぶれ5億円(プラス要因)
- ◆ 在庫変動影響-3億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高+3億円、営業利益+7億円

農業化学品セグメント概況 – (F-2) セグメント収益動向

2020上実績

<前年同期比>

- ◆ 増収: アルテア(国内・輸出)、クインテック(輸出)、ライメイ(国内・輸出)、グレーシア(輸出)
- ◆ 減収: フルララネル(ブラベクト在庫調整影響)、グレーシア(国内、害虫発生小)、タルガ(輸出、GE影響)、パーミット(輸出)、ラウンドアップ(ML: 減収、AL: 高価格品ALⅢシフトで増収)
- ◆ 固定費増加6億円
- ◆ 在庫変動影響+1億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-22億円、営業利益-16億円

<2020/5業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ: フルララネル(ロイヤリティ上ぶれ)、タルガ(輸出、海外混合剤向け)、ライメイ(国内)、クインテック(輸出)
- ◆ 売上高下ぶれ: グレーシア(国内害虫発生小・輸出下期へ期ずれ)、ラウンドアップ(ML: 下ぶれ、AL: 高価格品ALⅢシフトで上ぶれ)、アルテア(国内供給下ぶれ)、パーミット(国内)
- ◆ 固定費下ぶれ10億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-3億円、営業利益+11億円

2020下予想

<前年同期比>

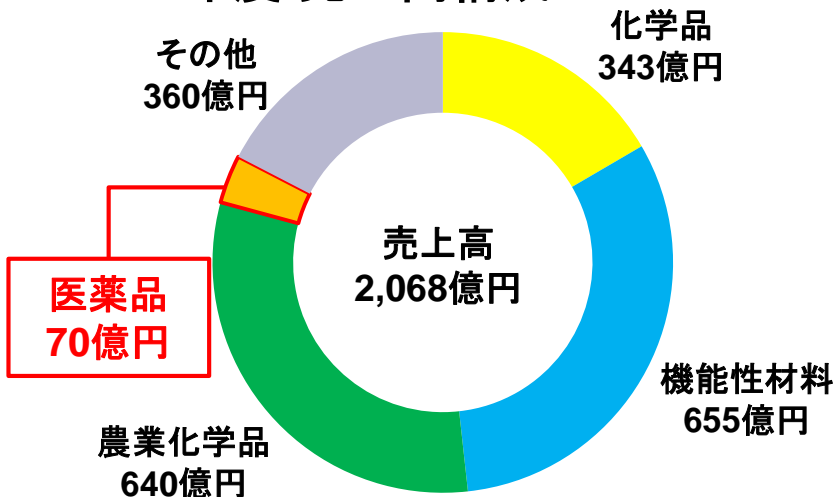
- ◆ 増収: アルテア(国内・輸出ともに拡販)、グレーシア(輸出拡販)、タルガ(輸出、欧米向け増)、フルララネル(ロイヤリティ増)、ライメイ(国内・輸出)、ラウンドアップ(ML・ALともに堅調)、クインテック(輸出)、パーミット(輸出)
- ◆ 固定費減少2億円
- ◆ 在庫変動影響-5億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高+28億円、営業利益+10億円

<2020/5業績予想比>

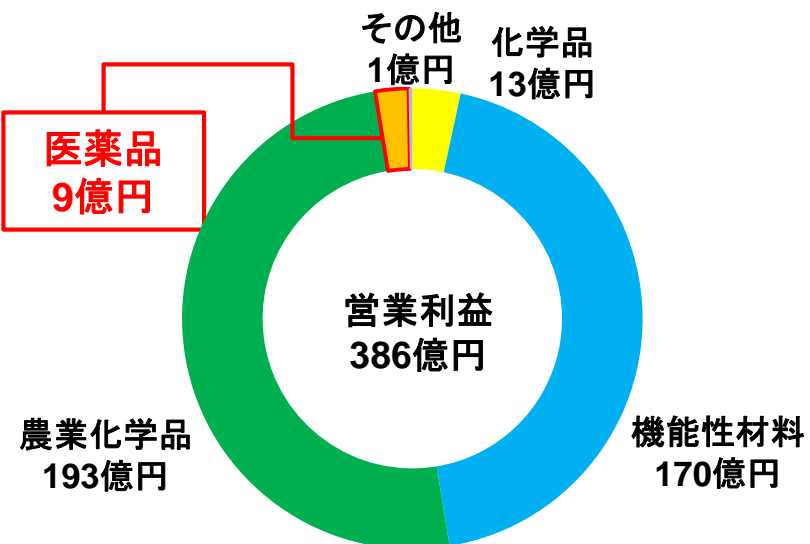
- ◆ 売上高上ぶれ: アルテア(国内拡販)、タルガ(輸出、北米向け拡販)、ラウンドアップ(ML堅調、AL: 高価格品ALⅢシフトで増収)、ライメイ(国内・輸出)、パーミット(輸出)
- ◆ 売上高下ぶれ: フルララネル(出荷後倒し、ロイヤリティ上ぶれ)、グレーシア(国内)、クインテック(輸出)
- ◆ 在庫変動影響-2億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高-6億円、営業利益-8億円

医薬品セグメント概況 - (A) 業績

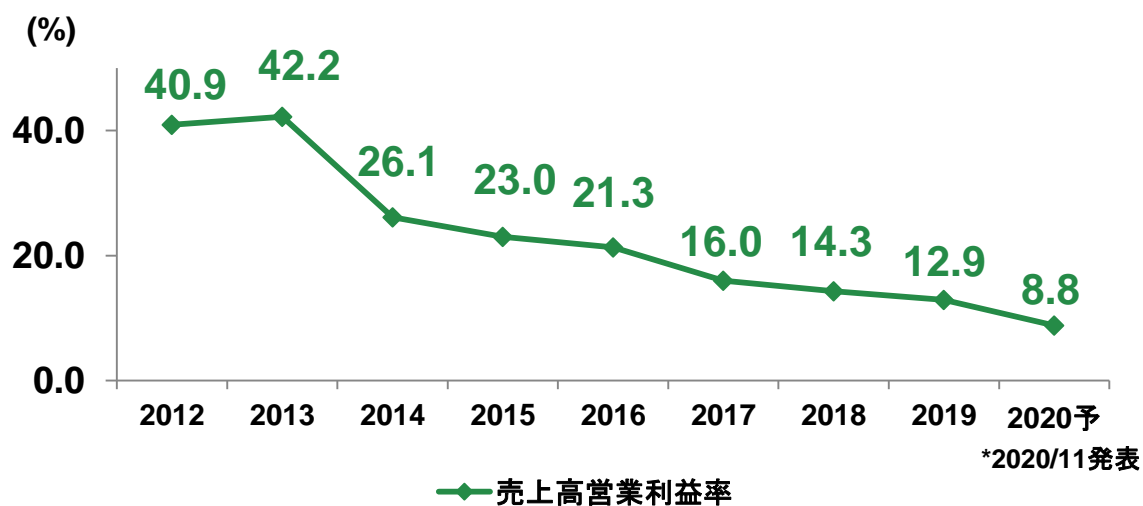
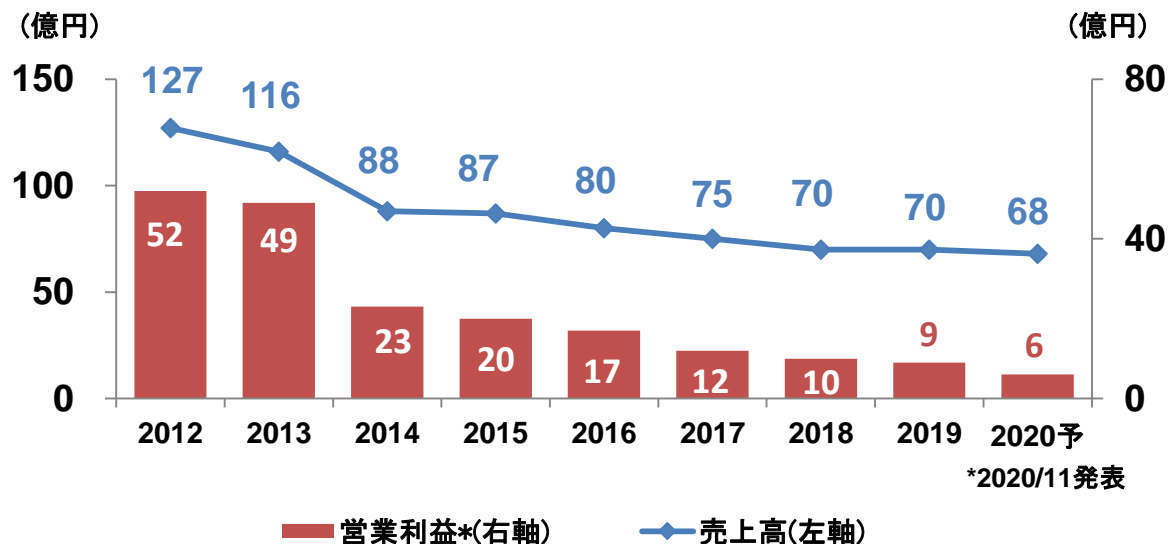
1. 2019年度 売上高構成



2. 2019年度 営業利益構成(新方式*)



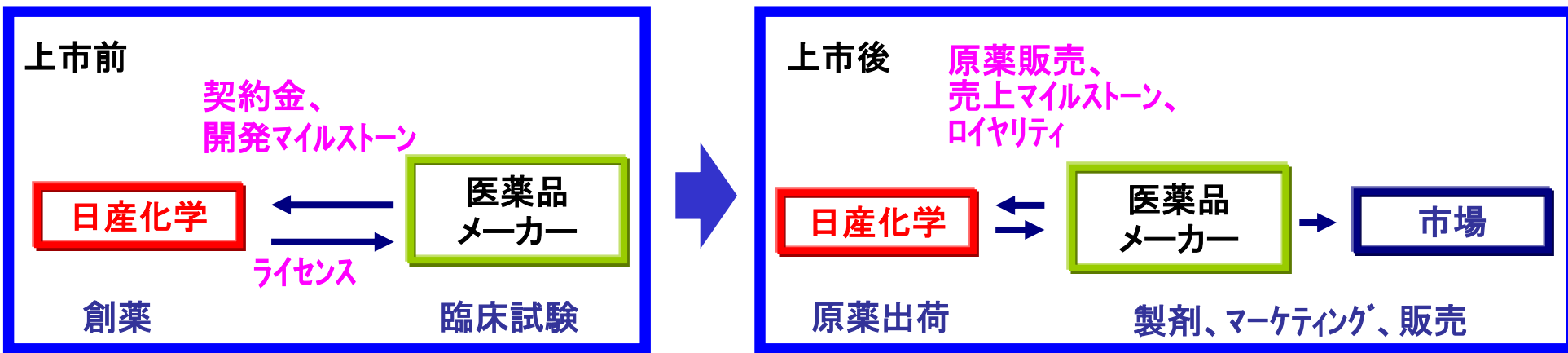
3. 医薬品業績推移



*2019年度より新方式セグメント別営業利益(p14参照)

医薬品セグメント概況 – (B) 新薬ビジネスモデルとリバロ

◆ 創薬、開発に特化し、販売部門を有さないユニークな医家向け医薬ビジネスモデル



◆ リバロ原薬(高コレステロール血症治療薬)

売上高	2013 実績	2014 実績	2015 実績	2016 実績	2017 実績	2018 実績	2019 実績	2020予想 (2020/5発表)	2020予想 (2020/11発表)
国内末端 (薬価ベース、億円)	526	345	297	239	210	167	143	-	-
当社原薬 (国内外合計、億円)	102	69	58	52	48	43	40	27	29
当社原薬 前年同期比成長率	-2%	-32%	-15%	-11%	-7%	-11%	-7%	-31%	-27%
(うち国内)	(-2%)	(-46%)	(-27%)	(-42%)	(-73%)	(-53%)	(+105%)	(+25%)	(-1%)
(うち海外)	(-1%)	(+21%)	(+5%)	(+26%)	(+29%)	(-6%)	(-14%)	(-39%)	(-31%)

- 2013年8月 国内物質特許満了
- 2020年8月 欧州で市場独占期間満了
- 現在26か国で販売中

医薬品セグメント概況 – (C) パイプライン

開発品	作用機序	適応症候補	パートナー
NTC-801	・アセチルコリン感受性カリウムチャネル(IKACH)阻害	・不整脈 (心房細動など)	・帝人ファーマ、ブリストルマイヤーズ・スクイブとのライセンス契約終了(2015/9) ・新たな導出先検討中 ・AMED*革新的医療シーズ実用化研究事業に採択(2018/9) ・大阪大学と医師主導治験を開始

*国立研究開発法人日本医療研究開発機構

<創薬研究方針>

戦略的に構築した化合物ライブラリ、精密有機合成力、独自の核酸構造、最先端の評価技術を駆使して、革新的な医薬品を創り出す

◆ 自社創薬研究

・イオンチャネル評価力を基軸に循環器疾患領域と神経疾患領域に集中

◆ 戦略的共同研究

・低分子創薬および核酸創薬について、製薬企業およびバイオベンチャー数社と共同研究を実施中

医薬品セグメント概況 – (D) ファインテック

- ◆ 医薬品技術開発型受託事業で、前臨床から商業生産まで、新薬の原薬・中間体製造プロセス研究を受託
- ◆ 加えて高活性・高付加価値ジェネリック原薬を中心として、新規案件獲得に注力
 - 2016年～マキサカルシトール(角化治療薬、二次性副甲状腺機能亢進症)
 - 2017年～エルデカルシトール(骨粗しょう症治療薬)

◆ ファインテック売上高推移

(億円)

	2013 実績	2014 実績	2015 実績	2016 実績	2017 実績	2018 実績	2019 実績	2020予想 (2020/5発表)	2020予想 (2020/11発表)
売上高	12	18	23	24	25	26	29	36	38

前年同期比 連結売上高成長率								
2019実績			2020予想 (2020/5 発表)			2020予想 (2020/11 発表)		
上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
0%	+23%	+11%	0%	+42%	+23%	+12%	+46%	+30%

医薬品セグメント概況 – (E) 今後の医薬品事業戦略(2020/5発表)

- 1. 創薬
 - (1) 収益化モデルの改革
 - ◆ 研究初期から全ての研究開発ステージで技術と化合物の導出を狙う
 - A. 自社創薬 (現在)臨床試験直前段階ではじめて導出
(今後)臨床試験以前の探索段階で、導出候補先の評価も踏まえ、提携と導出を判断
 - B. 共同創薬
 - ◆ 自社の創薬技術(核酸創薬プラットフォームなど)をパートナーに提供し、収益につなげる
 - ◆ 当社の核酸技術の強み…独自の修飾核酸構造
 - (2) R&D投入資源の効率化
 - A. 創薬開発要員を2年で10人削減
 - B. 研究開発費用を25億円程度で固定
 - (3) 創薬テーマ数を現状18テーマから10テーマに絞り込み

- 2. ファインテック
 - (1) 当面のリバロ中心の創薬事業減収を、ファインテック事業拡大で支える
 - (2) マキサカルシトール、エルデカルシトールに続く高活性・高付加価値GE原薬の新規案件獲得、ペプチド受託を狙う

3.概算収益イメージ(2020/5発表)

		2019	2020	2021	2023	(億円、利益は新方式)
		実績	20/5予想	概算予想	概算予想	
売上高	創薬	40.6	27.9	24	22	
	FT	29.0	35.6	51	60	
	計	69.6	63.5	75	82	
営業利益	創薬	-1.2	-9.5	-12	-13	*創薬には一時金収入は含まず (p55の2023年は5億円込み)
	FT	10.5	13.8	23	28	
	計	9.3	4.3	11	15	

医薬品セグメント概況 – (F) ペプチスター(株)への出資

- ◆ペプチスター(株)(以下PS社)への9億円出資(第三者割当増資後出資比率8.2%)
- ◆PS社: ペプチドリーム(株)、塩野義製薬(株)、積水化学工業(株)の3社合弁による世界初の特殊ペプチド原薬製造受託会社(2017年9月設立)
- ◆PS社資金調達: 日本医療研究開発機構(AMED)の医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE) 90億円
第三者割当増資 約110億円 合計約200億円
- ◆PS社事業状況: 2019年4月に研究棟、2019年7月に製造棟竣工
- ◆当社の役割: 特殊ペプチドの大量生産に適した液相法製造技術の開発
- ◆当社事業への影響: これまで当社で開発してきた特殊ペプチド原薬の新たな製造技術に磨きをかけ、飛躍的なコスト削減を達成することにより、医薬品受託製造事業の拡大を図る

医薬品セグメント概況 – (G-1) セグメント収益動向

(億円)

	2019実績(A)							2020予想 (2020/5発表)					2020予想(B) (2020/11発表)						増減 (B)-(A)			
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	18.7	15.6	34.3	15.3	20.0	35.3	69.6	11.9	16.3	28.2	35.3	63.5	15.0	15.3	30.3	15.5	22.1	37.6	67.9	-4.0	+2.3	-1.7
創薬	13.6	7.4	21.0	9.3	10.3	19.6	40.6	6.6	8.3	14.9	13.0	27.9	7.4	7.9	15.3	5.6	9.1	14.7	30.0	-5.7	-4.9	-10.6
FT	5.1	8.2	13.3	6.0	9.7	15.7	29.0	5.3	8.0	13.3	22.3	35.6	7.6	7.4	15.0	9.9	13.0	22.9	37.9	+1.7	+7.2	+8.9
営業利益	3.9	1.4	5.3	0.2	3.8	4.0	9.3	-1.4	1.9	0.5	3.8	4.3	-0.7	1.0	0.3	0.6	4.7	5.3	5.6	-5.0	+1.3	-3.7
創薬	2.3	-1.8	0.5	-1.7	0.0	-1.7	-1.2	-2.6	-0.7	-3.3	-6.2	-9.5	-2.2	-1.4	-3.6	-3.5	-1.4	-4.9	-8.5	-4.1	-3.2	-7.3
FT	1.6	3.2	4.8	1.9	3.8	5.7	10.5	1.2	2.6	3.8	10.0	13.8	1.5	2.4	3.9	4.1	6.1	10.2	14.1	-0.9	+4.5	+3.6

2020 1Q実績

<前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内減収、輸出減収)
◆ 売上高-6.2億円、営業利益-4.5億円
- (FT) ◆ 増収(2Qから前倒し)
◆ 売上高+2.5億円、営業利益-0.1億円
- (合計) ◆ 売上高-3.7億円、営業利益-4.6億円

< 2020/5業績予想比>

- (創薬) ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内上ぶれ、輸出上ぶれ)
◆ 売上高+0.8億円、営業利益+0.4億円
- (FT) ◆ 売上高上ぶれ(2Qから前倒し)
◆ 売上高+2.3億円、営業利益+0.3億円
- (合計) ◆ 売上高+3.1億円、営業利益+0.7億円

2020 2Q実績

<前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ増収(国内増収、輸出減収)
◆ 固定費減少1億円
◆ 売上高+0.5億円、営業利益+0.4億円
- (FT) ◆ 減収(1Qへ前倒し)
◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
◆ 売上高-0.8億円、営業利益-0.8億円
- (合計) ◆ 売上高-0.3億円、営業利益-0.4億円

< 2020/5業績予想比>

- (創薬) ◆ リバロ売上高下ぶれ(国内下ぶれ、輸出下ぶれ)
◆ 売上高-0.4億円、営業利益-0.7億円
- (FT) ◆ 売上高下ぶれ(1Qへ前倒し)
◆ 売上高-0.6億円、営業利益-0.2億円
- (合計) ◆ 売上高-1.0億円、営業利益-0.9億円

医薬品セグメント概況 – (G-2) セグメント収益動向

2020上実績

<前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内増収、輸出減収)
◆ 固定費減少2億円
- (FT) ◆ 売上高-5.7億円、営業利益-4.1億円
◆ 増収(GE品堅調)
◆ 棚卸評価損-1億円(原料価格低下)
◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
- (合計) ◆ 売上高+1.7億円、営業利益-0.9億円
◆ 売上高-4.0億円、営業利益-5.0億円

<2020/5業績予想比>

- (創薬) ◆ リバロ売上高予想通り(国内下ぶれ、輸出上ぶれ)
◆ 売上高+0.4億円、営業利益-0.3億円
- (FT) ◆ 売上高上ぶれ
◆ 棚卸評価損-1億円(原料価格低下)
◆ 売上高+1.7億円、営業利益+0.1億円
- (合計) ◆ 売上高+2.1億円、営業利益-0.2億円

2020下予想

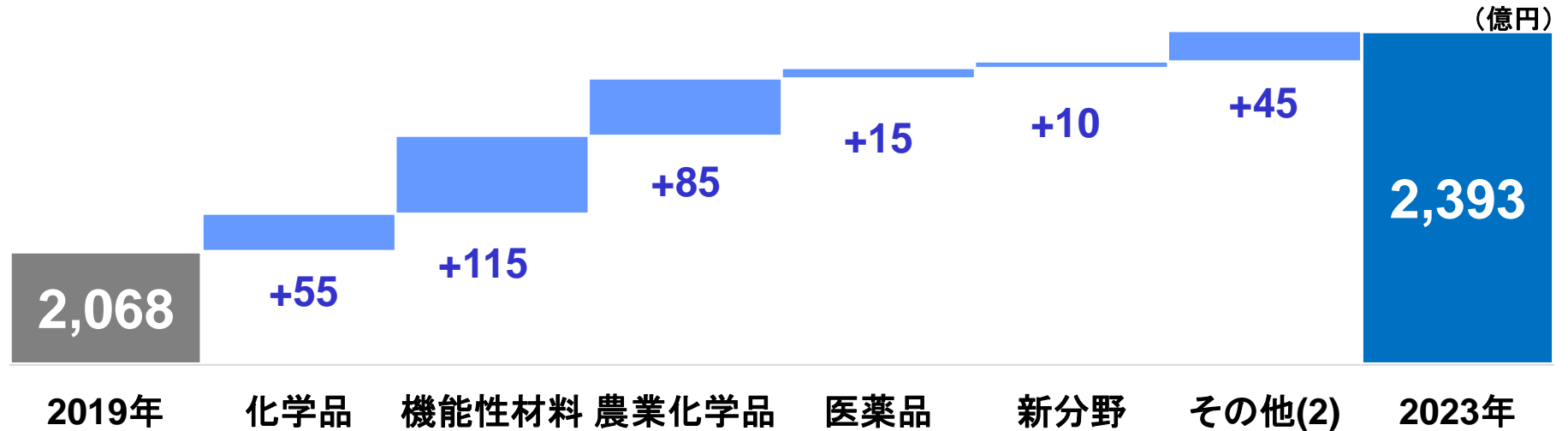
<前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内減収、輸出減収)
◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
- (FT) ◆ 売上高-4.9億円、営業利益-3.2億円
◆ 増収(GE品堅調)
- (合計) ◆ 売上高+7.2億円、営業利益+4.5億円
◆ 売上高+2.3億円、営業利益+1.3億円

<2020/5業績予想比>

- (創薬) ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内下ぶれ、輸出上ぶれ)
◆ 売上高+1.7億円、営業利益+1.3億円
- (FT) ◆ 売上高上ぶれ
◆ 売上高+0.6億円、営業利益+0.2億円
- (合計) ◆ 売上高+2.3億円、営業利益+1.5億円

2023年売上高イメージ - (A) 全社⁽¹⁾ (2020年5月発表)

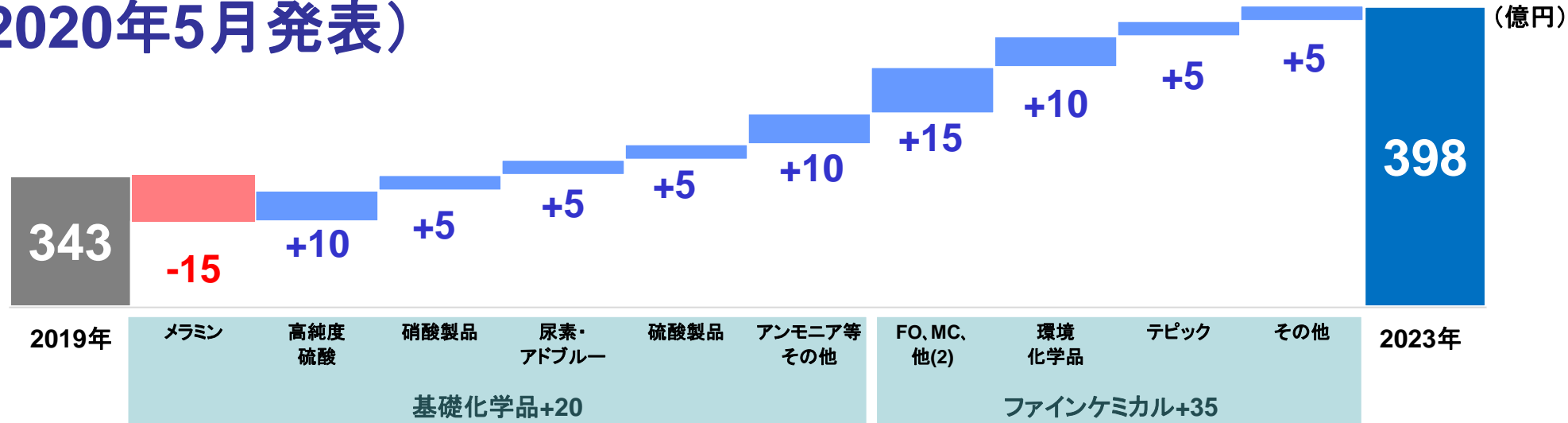


(1) 増減は5億円刻みで表示

(2) 卸売、その他、調整

- ◆ フルララネルは、在庫調整が継続するとみられ、売上高は2022年まで減少、2023年に回復する見込み
- ◆ その前提で、各セグメントの中期的な売上高の成長イメージを作成
- ◆ 全社合計の売上高は、2019年度2,068億円から、2023年度に2,393億円(+16%)へ増加するイメージ

2023年売上高イメージ - (B) 化学品セグメント(1) (2020年5月発表)



(1) 増減は5億円刻みで表示

(2) FO : ファインオキシコール(化粧品原料、アクリレート系接着剤)、MC : メラミンシアヌレート(エンブラ難燃剤、潤滑剤)、他 : 製品名非開示(強化繊維原料)

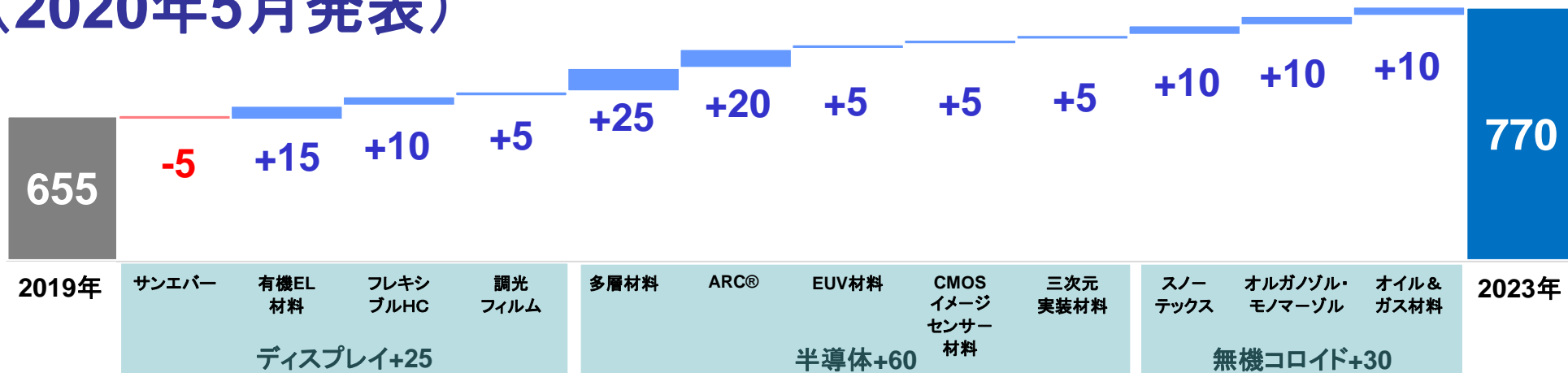
(基礎化学品)

(ファインケミカル)

製品	増減額 (億円、 5億円刻み)	主な増減要因	製品	増減額 (億円、 5億円刻み)	主な増減要因
メラミン	-15	(輸出) スプレッド重視で数量大幅削減、市況低迷継続(国内) 2020年レベルで横ばい	FO、MC、他	+15	(FO)既存化粧品原料を軸に海外拡大、新規用途開拓 (MC)新規粉末成型用潤滑剤用途(密度向上)拡大 (他) 新規用途開拓 (2019年度3製品売上高合計約27億円)
高純度硫酸	+10	半導体客先の設備、生産計画に従った拡販	環境化学品	+10	シアヌル酸能力増(2020年12月完工)で 大手取引先向け拡販(契約あり)
硝酸製品	+5	国内同業他社事業撤退(2020年4月)	テピック	+5	(一般)ほぼ2019年度レベルを維持 (電材)ソルダーレジストインキ顧客層拡大、 LED封止材用途拡大
尿素・アドブルー	+5	アドブルーの中小型トラック、建機向け需要増	その他	+5	
硫酸製品	+5	電子部品・バッテリー用途など需要拡大			
アンモニア等 その他	+10				

2023年売上高イメージ - (C) 機能性材料セグメント(1) (2020年5月発表)

(億円)



(1) 増減は5億円刻みで表示

(ディスプレイ)

製品	増減額 (億円、 5億円刻み)	主な増減要因
サンエバー	-5	(TN) -5 (VA) +10 シェア拡大 (ラビングIPS) -10 シェア拡大、光ヘシフト (光IPS) +0 スマホ向け減少、非スマホ向け拡大
有機EL材料	+15	蒸着型 +5 位相差用配向材、剥離層材 塗布型 +10 撥液バンク材料、ホール注入材
フレキシブルHC材料	+10	フォルダブルDPフィルム向けハードコート材料
調光フィルム	+5	建材、車載、新幹線向け展開

(半導体)

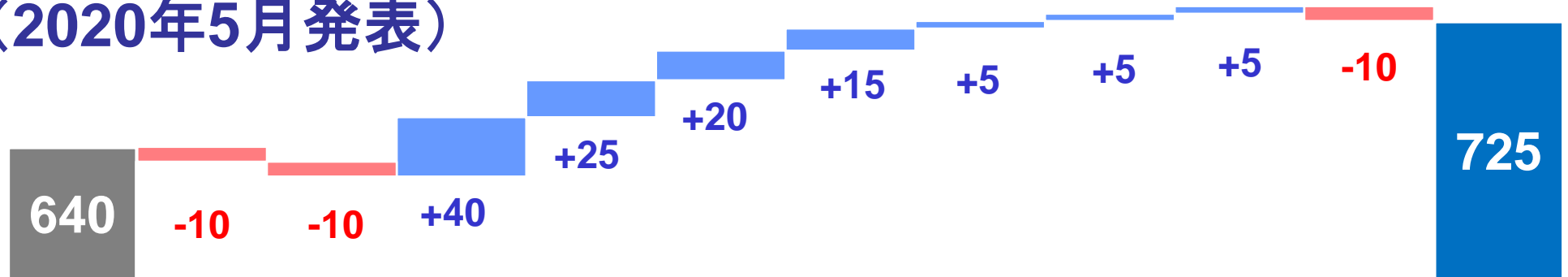
製品	増減額 (億円、 5億円刻み)	主な増減要因
多層材料	+25	5G、IoT展開に伴い、需要増加
ARC®	+20	
EUV材料	+5	5G、IoT展開に伴い、需要増加 (EUV用Si-HMは2019年によろやく参入)
CMOSイメージセンサー材料	+5	高付加価値レンズ材料へ参入
三次元実装材料	+5	新規顧客獲得、新材料開発

(無機)

スノーテックス	+10	(一般)自動車関連材料用途の増加 (研磨)シリコンウェハー・CMP向け増加
オルガノゾル・モノマーゾル	+10	フォルダブルスマホフィルム向け ハードコート材料、3Dプリンティング材料増加
オイル&ガス材料	+10	油価影響の小さい既存井戸補修用にも展開

2023年売上高イメージ - (D) 農業化学品セグメント(1) (2020年5月発表)

(億円)



2019年 フルララネル タルガ、パーミット、シリウス ライメイ グレーシア アルテア ラウンドアップ クインテック アレイル(2) トランスフォーム/エクシード/ビレスコ、ネクスター(3) その他 2023年

(1) 増減は5億円刻みで表示

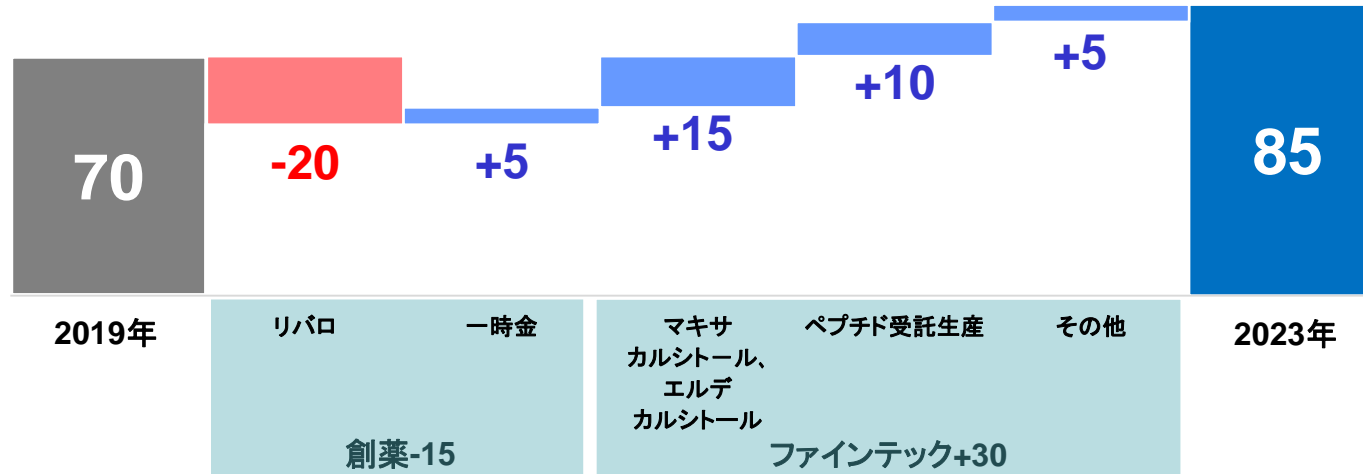
(2) アレイル:アルテアの茎葉処理剤

(3) トランスフォーム™/エクシード™/ビレスコ™:果樹・野菜・水稻殺虫剤(ダウ社より導入)、ネクスター:果樹・野菜殺菌剤(シンジェンタ社より導入)

製品	増減額 (億円、5億円刻み)	主な増減要因
フルララネル	-10	在庫調整で2022年まで減収、23年に20年水準に回復(p39参照)
タルガ、パーミット、シリウス	-10	(タルガ)欧州菜種市場縮小、(パーミット)欧州減少、(シリウス)アルテアへの代替進行で減少
ライメイ	+40	欧州で大手農業メーカー2社と混合剤2剤開発
グレーシア	+25	(国内)乳剤に続きフロアブル剤投入 (海外)販売国増加(インド、インドネシア、ベトナム、アルゼンチン)
アルテア	+20	第一世代から第二世代へ切替、海外中国、東南アジア拡販
ラウンドアップ	+15	MLは大型規格品注力、ALはホームセンターに加え、ドラッグストア、スーパー経由も強化
クインテック	+5	販売促進による数量増加
アレイル	+5	アルテアの茎葉処理タイプ新製品、湛水処理可能・耐雨性優位が特徴
トランスフォーム/エクシード/ビレスコ、ネクスター	+5	重点導入剤群
その他	-10	

2023年売上高イメージ - (E) 医薬品セグメント(1) (2020年5月発表)

(億円)



(1) 増減は5億円刻みで表示

(創薬)

製品	増減額 (億円、 5億円刻み)	主な増減要因
リバロ	-20	(国内) ジェネリック増加で数量減少 (輸出) 欧米にてジェネリック参入、韓国数量減少
一時金	+5	注力分野での開発候補品の導出を期待

(ファインテック)

マキサカルシトール、 エルデカルシトール	+15	(マキサカルシトール)新規顧客からの受注開始 (エルデカルシトール)2020年上期上市で数量増加を期待
ペプチド受託生産	+10	ペプチスター社及び他社より受託を期待
その他	+5	既存受託品群

2023年売上高イメージ - (F) 新分野 (2020年5月発表)

分野	製品	増減額 (億円、5億円刻み)
ライフサイエンス	細胞培養材料 生体界面制御材料(細胞とタンパク質の接着抑制) 化粧品材料(有効成分の皮膚浸透促進、保湿効果など)	合計10億円
環境エネルギー	二次電池材料(低抵抗化促進アンダーコート材料) 有機太陽電池向け正孔輸送層材料(太陽光のエネルギー変換)	
情報通信	光配線材料	

セグメント別 設備投資・減価償却・研究開発費用

(億円)

	設備投資 (1)						減価償却 (2)						研究開発費用					
	2016	2017	2018	2019	2020E (2020/5)	2020E (2020/11)	2016	2017	2018	2019	2020E (2020/5)	2020E (2020/11)	2016	2017	2018	2019	2020E (2020/5)	2020E (2020/11)
化学	20	26	20	31	68	50	16	17	18	18	22	23	5	6	6	4	4	3
機能性	84	72	33	33	49	39	48	59	60	51	50	46	79	81	82	77	84	73
農業化学	24	26	33	79	7	8	13	14	17	22	23	25	38	43	45	46	50	43
医薬	9	7	5	6	4	4	7	7	6	6	6	5	22	25	25	25	23	23
卸売	0	0	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
その他	6	6	7	7	8	8	4	7	7	7	5	4	17	17	20	20	21	26
合計	143	137	99	157	138	111	89	105	109	105	107	104	161	172	178	172	182	168
(売上高研究開発費比率)													8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	8.5%	8.0%

(1) 設備投資額

実績 - 検収ベース

予想 - 稼動開始ベース

(2) 減価償却法

サンエバー、ARC®、多層材料 - 4年定率(初年度50%を償却)

その他製品 - 8年定率(初年度25%を償却)

研究所総合職人員(19/9) -①	450
総合職人員(19/9) -②	1,165
①/②	39%

※単体ベース(海外駐在員含む)

※概数

主要設備投資(承認ベース)

(億円)

2017実績		2018実績		2019実績		2020予想	
項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
農薬(設備新設)	14	物質研(機器)	7	シアヌル酸(1)増強	19	半導体材料研新棟	20
NSU R&Dセンター	10	材料研(機器)	7	物質研(機器)	7	情報システム関連	14
材料研(機器)	9	農薬(開発新棟)	6	材料研(機器)	6	農薬(製造設備)	8
物質研(機器)	6	NSU R&Dセンター	5	DP(製造設備)	5	物質研(機器)	8
DP(試験製造)	3	テピック増強	5	生物科学研(機器)	3	材料研(機器)	7
生物科学研(機器)	3	生物科学研(機器)	4	テピック(製造設備)	2	高純度硫酸増強	5
DP(製造設備)	3	半導体製造試験	2	(1) ファインケミカル(p24参照)		生物科学研(機器)	2
		スノーテックス増強	2				

中期経営計画 Vista2021 Stage II (2019-2021) (2019年5月発表)– (A)

1. PL

	実績	新中計 (2019/5発表)	旧中計 (2016/5発表)	(億円)
	2018	2021	2021	
売上高	2,049	2,350	2,500	
営業利益	371	430	400	
経常利益	391	440	408	
当期純利益	294	330	310	
EPS(円/株)	197.67	230.00	-	
配当(円/株)	82	-	-	
為替レート(円/ドル)	111	110	115	
ナフサ(円/kl)	49,700	43,000	51,100	

(経営指標)

	実績	新中計 (2019/5発表)	旧中計 (2016/5発表)
	2018	2020、2021	2021
売上高営業利益率	18.1%	18%以上	15%以上
ROE	16.6%	16%以上	14%以上
配当性向	41.5%	45%	40%
総還元性向	72.0%	75%	70%

(億円)

2. セグメント⁽¹⁾

	売上高			営業利益		
	実績	新中計 (2019/5発表)	旧中計 (2016/5発表)	実績	新中計 (2019/5発表)	旧中計 (2016/5発表)
	2018	2021	2021	2018	2021	2021
化学品	357	431	405	30	51	45
機能性材料	630	751	829	150	173	184
農業化学品	627	701	670	184	211	167
医薬品	70	75	83	10	7	24
卸売・その他・調整	365	392	513	-3	-12	-20
合計	2,049	2,350	2,500	371	430	400

(1) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

中期経営計画 Vista2021 Stage II (2019-2021) (2019年5月発表)– (B)

1. キャッシュフロー

	実績	新中計	(億円)
	2016-2018 合計	2019-2021 合計(概数)	
営業CF	1,021	1,150	
投資CF	-392	-450	
財務CF	-620	-750	
(うち株主還元)	-556	-700	
(うち借入金返済)	-64	-50	
	2019/3	2022/3	
期末現預金残高	362	300	

2. 設備投資、減価償却費、研究開発費、研究開発要員

	(億円)						(人数)	
	設備投資		減価償却費		研究開発費		研究開発要員	
	実績	新中計	実績	新中計	実績	新中計	実績	新中計
	2016-2018 合計	2019-2021 合計	2016-2018 合計	2019-2021 合計	2016-2018 合計	2019-2021 合計	2018	2021
化学品	66	147	52	94	16	14	10	10
機能性材料	189	178	167	170	243	267	200	210
農業化学品	83	82	44	55	126	148	95	95
医薬品	21	17	21	18	72	71	85	90
卸売・その他・調整	20	23	19	31	54	80	80	75
合計	379	447	303	368	511	580	470	480

ESGへの取り組み

◆ ESGインデックス等

- 2017年～ 健康経営優良法人ホワイト500に4年連続認定
- 2019年9月 Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index の構成銘柄に2年連続で選定
- 2020年2月 CDP 水セキュリティにおいて「Aリスト」に初選定
- 2020年6月 S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数の構成銘柄に2年連続で選定
FTSE4Good Index SeriesおよびFTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に選定
- 2020年8月 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言への賛同を表明
- 2020年10月 「統合レポート2020」を発行
https://www.nissanchem.co.jp/ir_info/archive/ar/ar2020.pdf

◆ ガバナンス

- 2019年4月 指名・報酬諮問委員会設置(取締役会の任意の諮問機関)
- 2019年6月 取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入(株式給付信託)
社外取締役を1名増員し、3名体制へ(取締役は計9名)

◆ 東京証券取引所「企業価値向上表彰」表彰候補50社に選定

- 2019年8月 「企業価値向上表彰」の表彰候補として、上場企業約3,600社中50社に2年連続選定

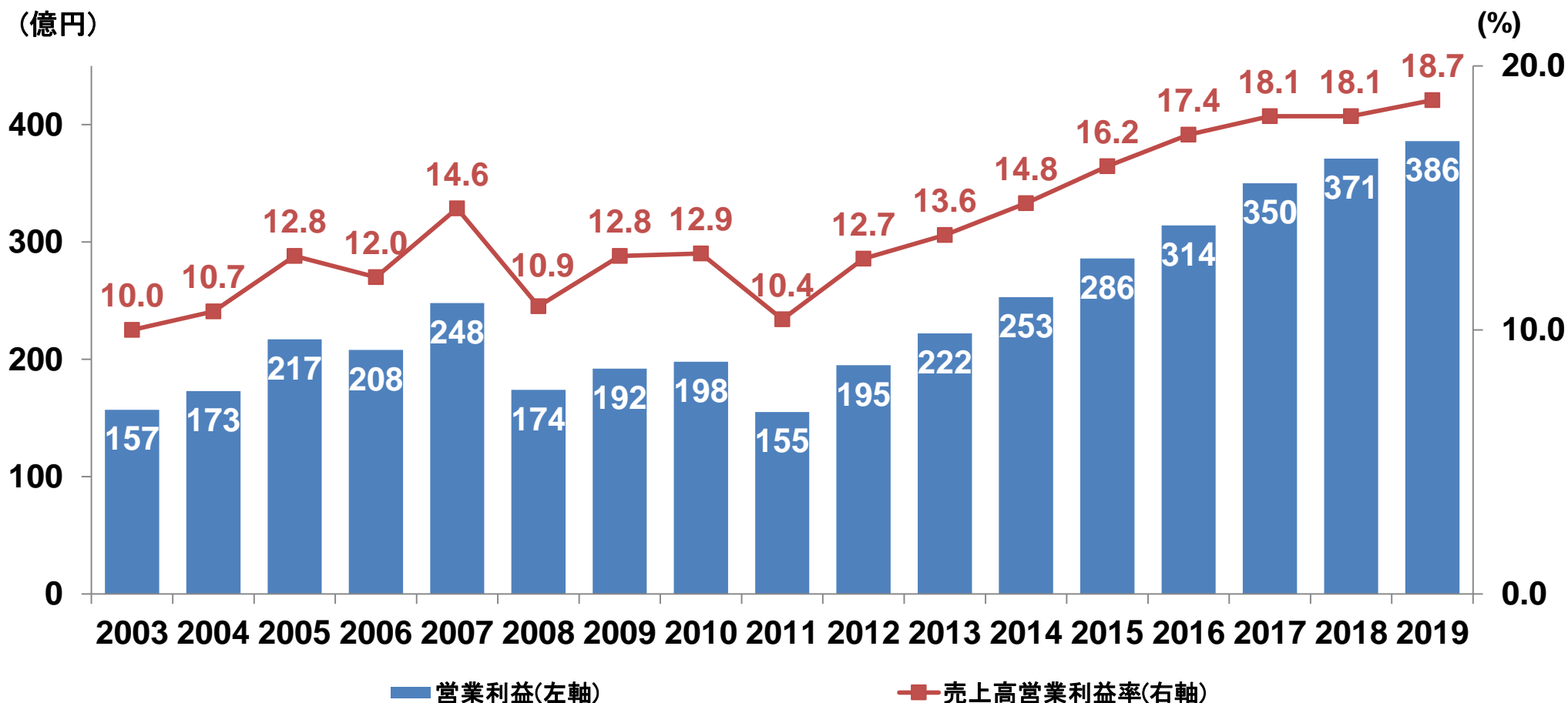
◆ ディスクロージャー優良企業を受賞

- 2020年10月 証券アナリスト協会「ディスクロージャー優良企業選定」にて化学・繊維部門の第1位に初めて選定

(白紙)

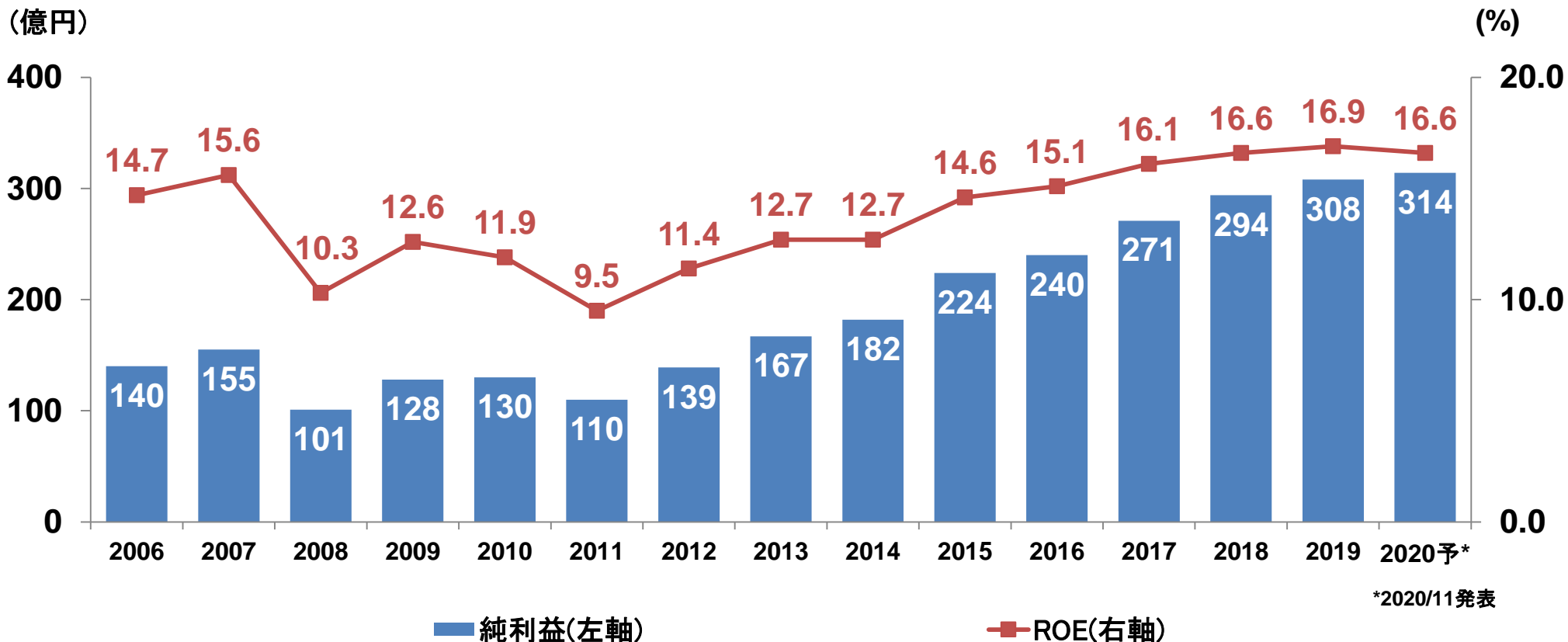
当社の特徴- (A) 売上高営業利益率

- ◆ 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持
(2003年度以降17年連続10%以上)



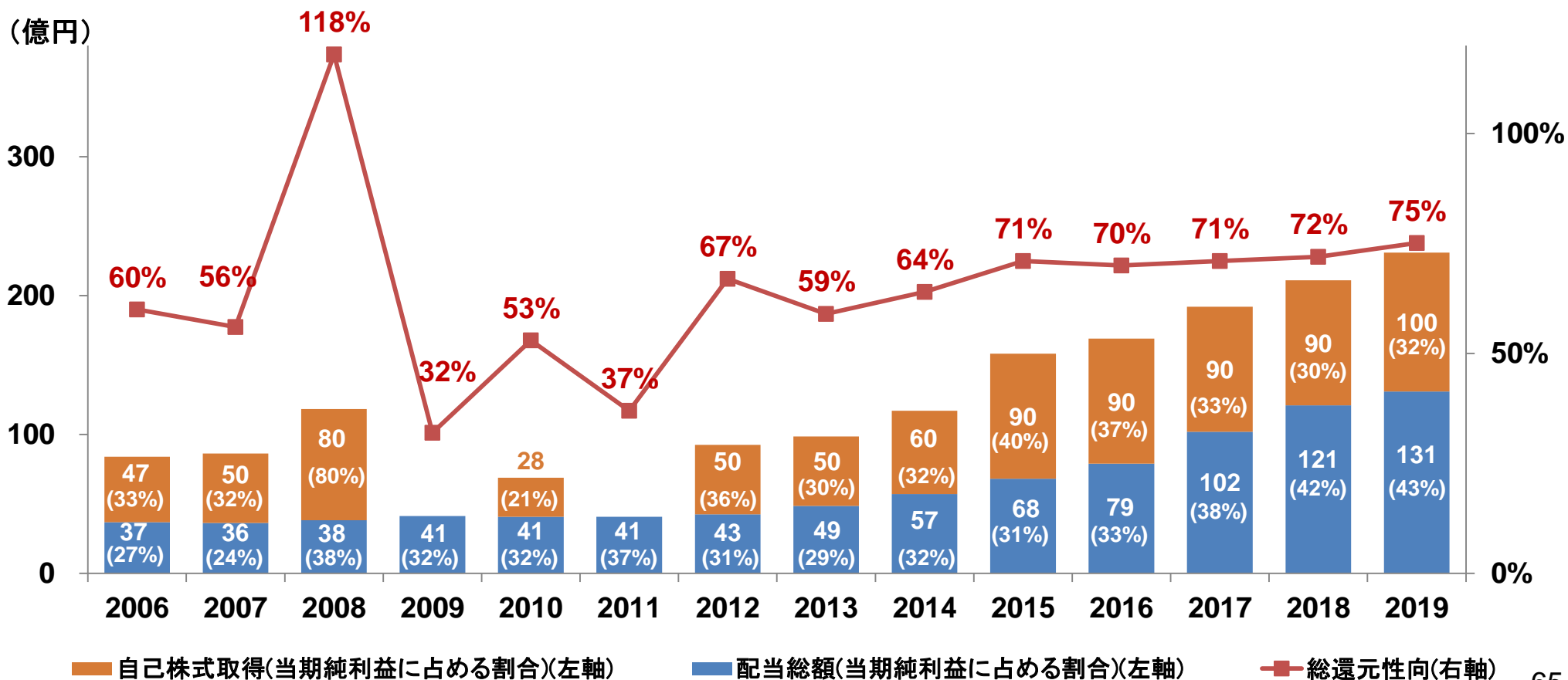
当社の特徴- (B) ROE

- ◆ ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- ◆ 2016年度以降は14%以上維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では16%以上維持が目標
- ◆ 2019年度実績は16.9%



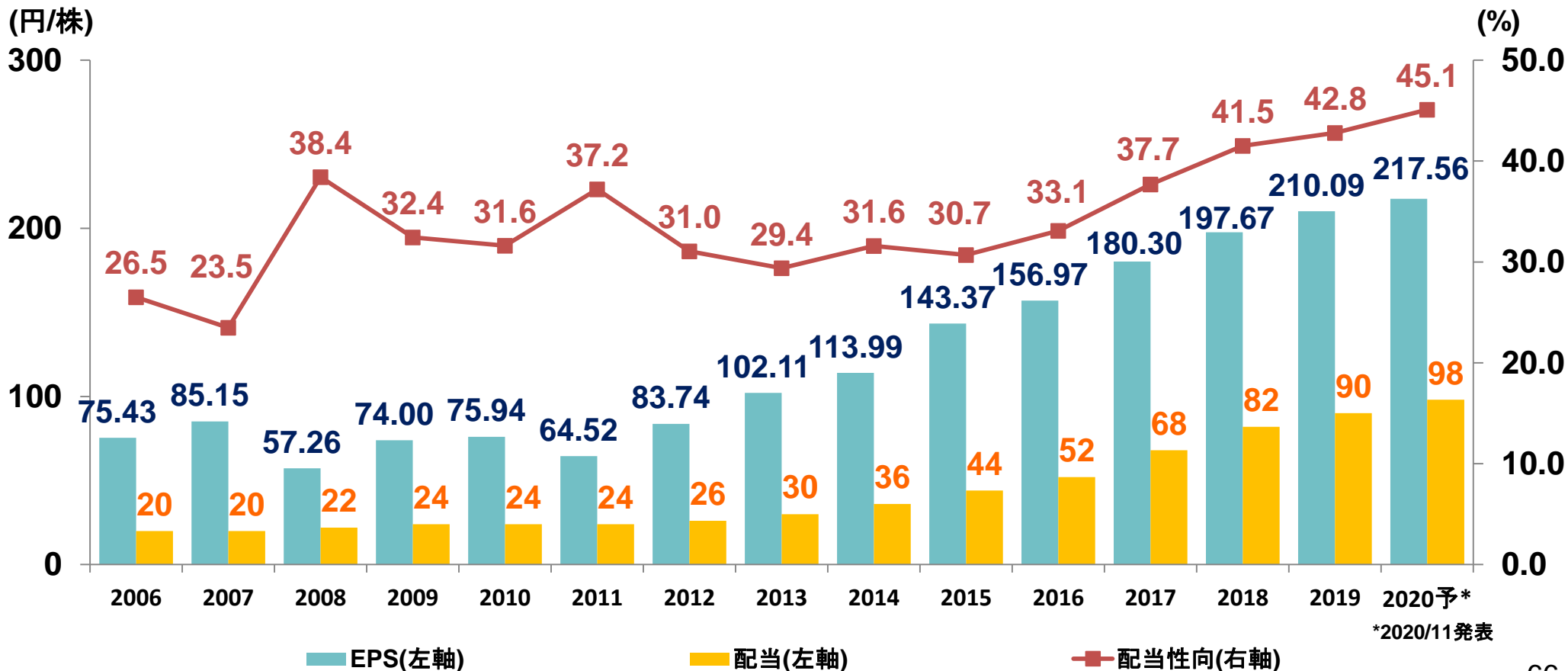
当社の特徴- (C)株主還元 (総還元性向)

- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの積極的な利益還元の結果、近年は60%-70%で推移
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では、2019年度72.5%、2020年度以降75%が目標
- ◆ 2019年度実績は75.1%



当社の特徴- (D)株主還元 (配当性向)

- ◆ 2015年度30.7%から段階的に引き上げ、2018年度実績41.5%
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では
2019年度42.5%、2020年度以降45%が目標
- ◆ 2019年度実績は42.8%



当社の特徴－(E)株主還元(自己株式取得)

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始
- ◆ 2006-19年度取得総額825億円、4,089万株(取得開始前発行済株式の21.8%)
- ◆ 2006-19年度取得株はすべて消却済

2006-2019年度 自己株式取得実績

- (1) 単元未満株式買取、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得(166千株)を除く
 (2) 単元未満株式、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得(166千株)を含む

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
自己株式取得総数(千株)(1)	3,500	3,399	7,355	0	2,167	0	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	1,682	2,138	40,886
取得価額総額(億円)(1)	47	50	80	0	28	0	50	50	60	90	90	90	90	100	825
自己株式消却総数(千株)	3,000	3,635	7,000	0	3,000	0	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	3,000	41,635
発行済株式総数(百万株)	185	181	174	174	171	171	165	161	158	156	154	151	149	146	
期末自己株式数(千株)(2)	1,367	1,233	1,660	1,709	885	886	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	1,218	523	
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	32	53	37	67	59	64	71	70	71	72	75	

◆ 取得

年度	2017			2018			2019			2020
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	5月18日～7月28日
自己株式取得総数(千株)(1)	1,304	988	2,292	976	706	1,682	1,270	868	2,138	1,334
取得価額総額(億円)(1)	50	40	90	50	40	90	60	40	100	70
自己株式消却総数(千株)	3,000	0	3,000	2,000	0	2,000	2,000	1,000	3,000	1,000(8月31日実行)

◆ キャッシュマネジメント(単体ベース)

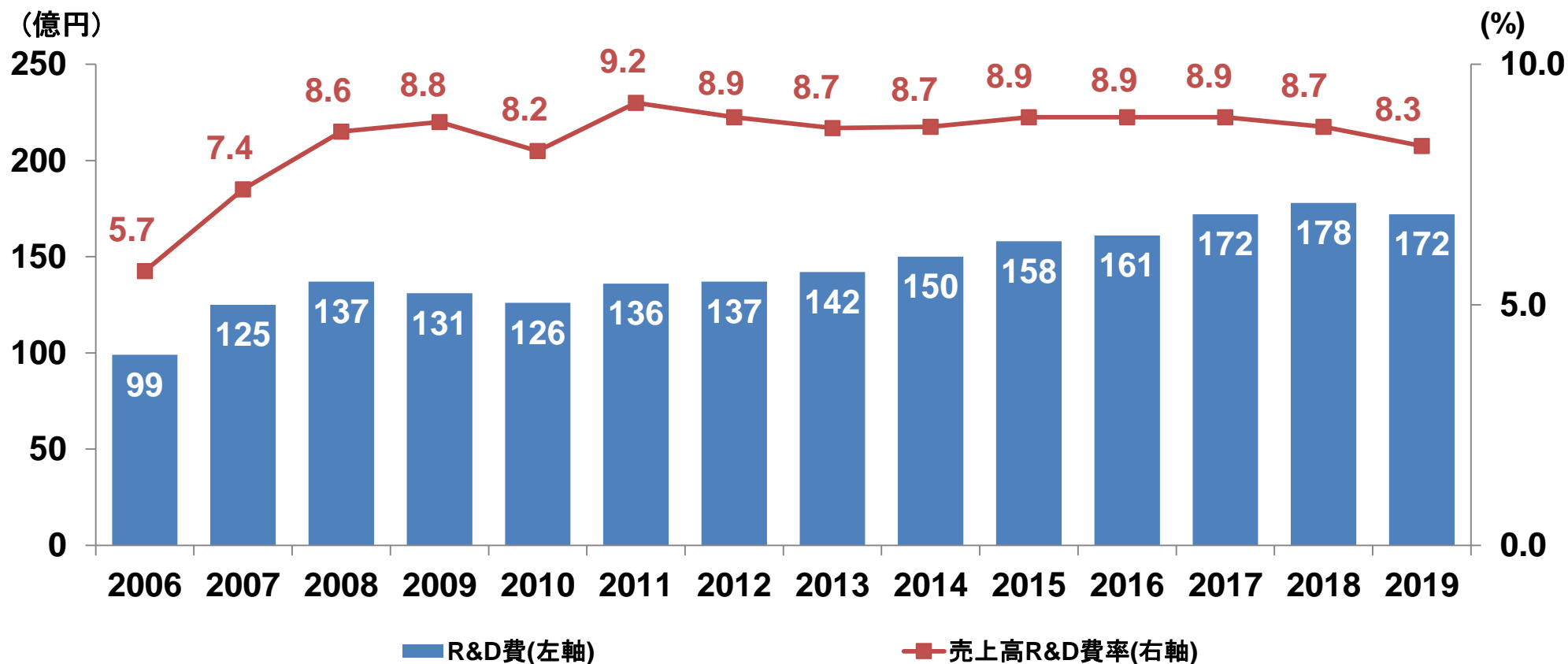
目標現預金残高水準

$$= \text{必要下限額} + \text{流動性リスク対応} [1/3 \times (\text{長期借入金年間返済予定額} + \text{短期借入残})] + \text{偶発リスク対応}$$

(白紙)

当社の特徴- (F-1)研究開発

- ◆独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業
- ◆R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆総合職の約40%はR&D要員

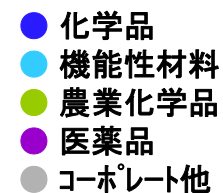
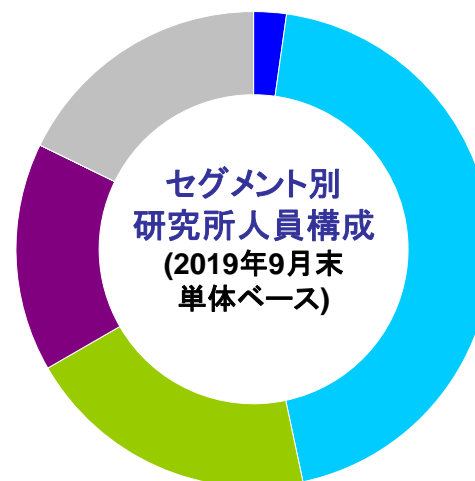
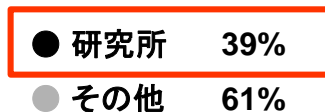
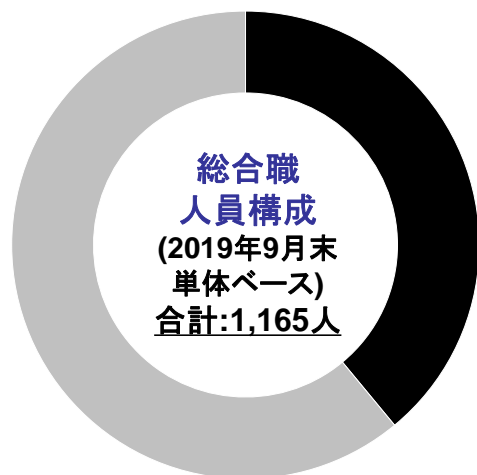


当社の特徴- (F-2)研究開発

◆セグメント別研究開発費

セグメント	2019年度実績				
	売上高 (億円)	営業利益* (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	343	13	3.8%	4	1.2%
機能性材料	655	170	26.0%	77	11.8%
農業化学品	640	193	30.2%	46	7.2%
医薬品	70	9	12.9%	25	35.7%
コーポレート他	-	-	-	20	-
その他共通合計	2,068	386	18.7%	172	8.3%

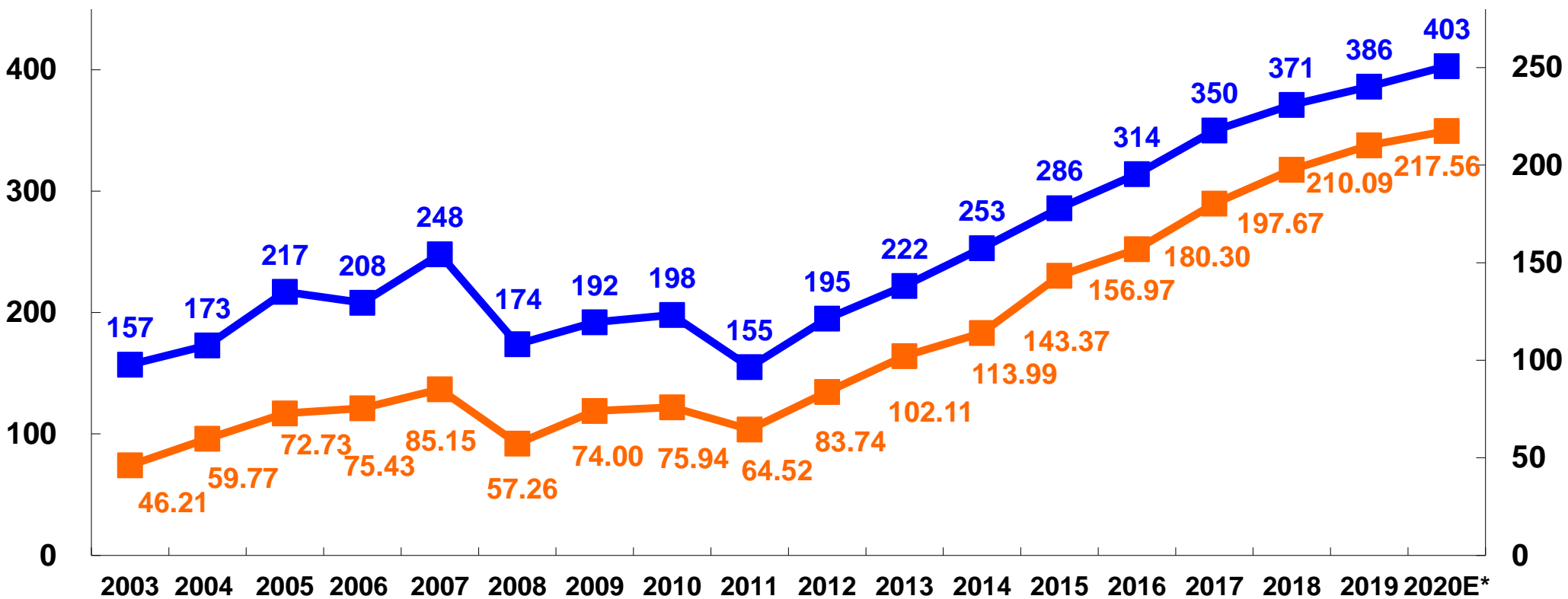
*セグメント別営業利益は新方式にて記載 (p14参照)



長期業績推移

営業利益
(億円)

EPS
(円/株)



*2020/11発表

長期業績推移

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020E*
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,095
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	403
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	400	411
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	308	314
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	383	403	455	480	492	507
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	19.2%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.9%	16.6%
EPS(円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	210.09	217.56
配当(円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	90	98
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.8%	45.1%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100	70
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	2,495	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	1,855	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	306	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	246	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	73.7%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	102	143	137	99	157	111
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	105	104
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	172	168
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	8.0%

*2020/11発表

2016-2020 2Q 四半期別セグメント別売上高⁽¹⁾⁽²⁾⁽³⁾

(億円)

	2016実績					2017実績					2018実績					2019実績					2020実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	85	80	91	92	348	88	79	92	90	349	87	83	96	91	357	84	84	87	88	343	74	73
ファイ	28	25	27	27	107	28	25	28	25	106	27	24	26	27	104	26	26	26	27	105	27	27
基礎	57	55	64	65	241	60	54	64	65	243	60	59	70	64	253	58	58	61	61	238	47	46
機能	126	129	138	135	528	141	150	151	146	588	156	164	166	144	630	151	163	170	171	655	171	175
農化	145	95	42	238	520	146	115	64	256	581	164	123	59	281	627	147	132	55	306	640	146	111
医薬	22	15	24	19	80	21	14	23	17	75	18	19	19	14	70	19	15	16	20	70	15	15
創薬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	7	9	10	41	7	8
FT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	8	6	10	29	8	7
卸売	144	132	137	139	552	146	145	159	145	595	178	156	181	164	679	175	158	175	171	679	182	155
他	40	46	58	96	240	54	43	46	72	215	46	59	72	69	246	49	49	51	75	224	48	46
調整	-111	-103	-114	-137	-465	-122	-110	-118	-119	-469	-140	-133	-154	-133	-560	-138	-123	-139	-143	-543	-143	-123
合計	451	394	376	582	1,803	474	436	417	607	1,934	509	471	439	630	2,049	487	478	415	688	2,068	493	452

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

(3) 2020年度より、ファインオキシコール(FO、化粧品原料)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

2016-2020 2Q 四半期別セグメント別営業利益⁽¹⁾⁽²⁾

(億円)

	2016実績					2017実績					2018実績					2019実績					2020実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	15	-2	13	12	38	15	-2	12	9	34	16	-4	10	8	30	9	-6	5	5	13	7	-8
機能	30	32	38	25	125	36	41	40	25	142	39	42	43	26	150	40	44	47	39	170	53	54
農化	45	24	-20	83	132	45	36	-6	89	164	51	47	-13	99	184	45	49	-18	117	193	40	38
医薬	6	0	8	3	17	5	0	6	1	12	3	3	4	0	10	4	1	1	3	9	-1	1
創薬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-2	-2	0	-1	-2	-1
FT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	2	4	11	2	2
卸売	4	4	5	4	17	4	5	5	4	18	6	5	6	3	20	5	5	6	5	21	7	5
他	0	0	2	8	10	1	1	1	3	6	1	1	2	5	9	1	0	1	5	7	0	0
調整	-5	-6	-6	-8	-25	-6	-8	-7	-5	-26	-9	-7	-8	-8	-32	-11	-6	-8	-2	-27	-8	-8
合計	95	52	40	127	314	100	73	51	126	350	107	87	44	133	371	93	87	34	172	386	98	82

(1) 2019-20 : 新方式セグメント別営業利益(p14参照)

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

セグメント別売上高、営業利益推移 (1)(2)(3)

<売上高 (A)>

(億円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020E*
化学	381	369	345	355	343	343	348	349	357	343	317
機能	380	340	374	428	494	518	528	588	630	655	698
農化	344	338	354	391	457	475	520	581	627	640	646
医薬	96	100	127	116	88	87	80	75	70	70	68
卸売	441	448	466	507	544	556	552	595	679	679	691
他	270	200	212	214	209	209	240	215	246	224	234
調整	-370	-309	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-543	-559
合計	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,095

*2020/11発表

<営業利益 (B)>

化学	24	16	19	19	19	39	38	34	30	13	12
機能	79	48	72	88	120	120	125	142	150	170	206
農化	48	44	50	62	92	108	132	164	184	193	187
医薬	44	46	52	49	23	20	17	12	10	9	6
卸売	14	13	14	15	17	18	17	18	20	21	21
他	10	3	7	8	6	5	10	6	9	7	6
調整	-21	-15	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-27	-35
合計	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	403

<セグメント資産 (D)>

2019
277
502
739
106
252
120
499
2,495

<営業利益率 (C)=(B)/(A)>

化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	3.8%	3.8%
機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	26.0%	29.5%
農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.2%	28.9%
医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	12.9%	8.8%
卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	3.0%
他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	3.1%	2.6%
合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	19.2%

<ROA (E)=(B)/(D)>

4.7%
33.9%
26.1%
8.5%
8.3%
5.8%
15.5%

- (1) 2010-11 : 旧セグメント, 2012- : 新セグメント
- (2) 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む
- (3) 2019-20 : 新方式セグメント別営業利益(p14参照)

主要製品用途

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル テピック メラミンシアヌレート ハイライト</p> <p>◆基礎化学品 メラミン 尿素、アドフルー 高純度硫酸 アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤 難燃剤 塩素化イソシアヌル酸： プール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤 アドフルー（ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水） 半導体用洗浄剤</p>
機能性材料	<p>◆電子材料 サンエハー ARC®(KrF、ArF) OptiStack®(多層材料) NHC OPTIFOCUS エルソース</p> <p>◆無機コロイド スノーテックス オルガノゾル・モノマーゾル アルミナゾル サンコロイド セルナックス オイル&ガス材料</p>	<p>液晶配向材用ホリイミド 半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料(Si-HM、SOC) *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標 タッチパネル用絶縁膜 イメージセンサー用マイクロレンズ材料 有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： 研磨材(シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等)、 特殊鋼板 有機溶媒・モノマー分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤 自動車用触媒、電子機器 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル フィルム用帯電防止 シェールオイル・ガス探掘効率向上材</p>
農業化学品	<p>◆除草剤 タルガ パーミット シリウス ラウンドアップ アルテア</p> <p>◆殺虫剤 サンマイト、マイトコーネ、スターマイト グレーシア</p> <p>◆殺菌剤 パルサー、イカルガ、グレートム (チフルサミド) ライメイ クインテック(キノキシフェン)</p> <p>◆動物薬 フルララネル</p>	<p>大豆、なたね、てんさい どうもろこし、さとうきび、米 米 非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園 米</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜 野菜、茶</p> <p>芝、稲、ばれいしよ</p> <p>野菜 果樹、野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬ブラベクト、鶏用ワクモ駆除剤EXZOLT原薬</p>
医薬	リハロ原薬 ファインテック	高コレステロール血症治療薬 医薬品技術開発型受託事業
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。



Nissan Chemical
CORPORATION